

令和 7 年教育委員会 10 月定例会

日 時：令和 7 年 10 月 30 日（木）午後 3 時 30 分

場 所：北秋田市民ふれあいプラザ 大研修室

署名	教育長	
署名		委員

次 第

1 開 会

2 前回委員会会議録の承認

3 諸報告

（1）教育長報告

① 動静報告

（2）各課所管事項

・教育総務課

① 10 月行事報告及び 11 月行事予定

② あきたリフレッシュ学園

③ 学校給食

・学校教育課

① 10 月行事報告及び 11 月行事予定

② 学校の状況

・生涯学習課

① 10 月行事報告及び 11 月行事予定

（3）各課工事等発注状況

4 案 件

（1）議案第 25 号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

（2）議案第 26 号 令和 7 年度全国学力・学習状況調査の結果分析の公表について

5 その他

（1）「きらり☆きたあきた」の販売について

（2）次回の教育委員会定例会の開催日について

（3）その他

6 閉 会

1 教育長の動静について(9月25日～10月29日)

No.	日	曜	会議等	会場
1	25	木	定例教育委員会	第3会議室
2	26	金	9月定例議会(閉会)	議場
3			決算特別委員会懇親会	縄文の湯
4	27	土	比内支援学校竣工式典	比内支援学校
5	28	日	100 ^{キロ} チャレンジマラソン大会50 ^{キロ} スタート式典・表彰式	道の駅あに→交流センター
6	30	火	高齢者叙勲伝達式(今野富士夫氏・桂邦夫氏)	第2会議室・米内沢御嶽(自宅)
7			定例部長会	3F大会議室
8	1	水	自衛隊大館支所長来庁	事務局
9	2	木	市教委学校訪問	合川小
10			校長会要望書提出	式場
11	3	金	県北地区社会教育関係職員研修会②	コムコム
12			不登校対策検討委員会③	第2会議室
13	4	土	学校祭(鷹中・森中・合中)	森中→合中→鷹中
14			スポーツ協会創立20周年記念講演会	コムコム
15	5	日	阿仁学園祭	阿仁学園
16			学習発表会(東小・綴子小・清鷹小)	清鷹小→東小→綴子小
17			る・それいゆ30周年記念コンサート	文化会館
18	7	火	市教委学校訪問	合川中
19	9	木	北教育事務所長学校訪問同行	阿仁学園
20			森吉コミセン改築住民説明会	森吉コミセン
21	10	金	市校長会経営研究会	鷹巢中
22	11	土	学習発表会(鷹小・合川小)	鷹巢小→合川小
23	12	日	米内沢小学校150周年記念式典	米内沢小
24			学習発表会(米内沢小)	米内沢小
25			米内沢小学校150周年記念祝賀会	森吉コミセン
26	13	月	秋田フィンランド協会モルック体験会in上小阿仁	上小阿仁村生涯学習センター
27	14	火	全県書写研究会会長来庁	事務局
28	15	水	市教委学校訪問	綴子小→米内沢小
29	16	木	市教委学校訪問	清鷹小→森吉中
30	18	土	秋田活性化中学生選手権県北大会	森吉コミセン
31			市産業祭	鷹巢体育館
32	19	日	全市一斉秋のクリーンアップ	木戸石集落
33			市産業祭	鷹巢体育館
34	20	月	二本松市教育委員会視察・懇親会	阿仁学園・菅原館
35	21	火	二本松市教育委員会視察	米内沢小→森吉中
36			高鷹大学学園祭	コムコム
37	22	水	市長打合せ(総合教育会議)	応接室
38			大館鳳鳴高校定時制校長等来庁	式場
39			地元県議との意見交換会・懇親会	3F大会議室・菅原館
40	23	木	大館北秋田中体連会長来庁	事務局
41			年長児公開保育	鷹巢中央保育園
42	24	金	東北道徳研究会秋田大会	山瀬小
43			北秋田市・郡ふるさと会	秋田市パークホテル
44	25	土	市文化祭・浜辺の歌音楽祭	コムコム・文化会館
45	26	日	市芸術文化功労賞・奨励賞授与式	文化会館
46	28	火	北教育事務所長学校訪問同行	鷹巢東小
47			県都市教育長協議会教育長・関係課長会議	大館市
48			鈴鹿市議団との懇談会	いな穂
49	29	水	三重県鈴鹿市議会阿仁学園視察	阿仁学園

【教育総務課】

① 10月行事報告及び11月行事予定

行 事 報 告

月	日	曜	報 告 事 項	場 所	備 考
10	2	木	教育委員会後期学校訪問①	合川小	
	7	火	教育委員会後期学校訪問②	合川中	
	15	水	教育委員会後期学校訪問③	綴子小・米内沢小	
	15	水	「松尾牛」学校給食無償提供事業	合川小・米内沢小・合川中・森吉中・阿仁学園	シシリアンライス
	16	木	教育委員会後期学校訪問④	清鷹小・森吉中	
	20	月	北秋田みらい応援留学(第Ⅱ期) 11月14日(金)まで	合川学童研修センター	
	21	火	「松尾牛」学校給食無償提供事業	鷹巣東小・清鷹小	牛丼
	22	水	「松尾牛」学校給食無償提供事業	鷹巣小・綴子小・鷹巣中	牛丼
	24	金	県庁北秋田市・郡ふるさと会	秋田市	
	28	火	秋田県都市教育長協議会教育長・関係課長会議	大館市プラザ杉の子	
	29	水	北秋田市・上小阿仁村統一献立給食提供事業～「K.KうめえBEAR給食」～	全市立学校	
	30	木	第2回総合教育会議、教育委員会10月定例会	市民ふれあいプラザ	

行 事 予 定

月	日	曜	予 定 事 項	場 所	備 考
11	5	水	秋田県市町村教育委員会連合会および 秋田県都市教育長協議会合同研修会	秋田市役所5階正庁	
	6	木	全県市町村教育委員会教育長会議	秋田県庁	
	19	水	第2回学校給食試食会	綴子小学校	
	27	木	教育委員会11月定例会	第二庁舎第三会議室	

② あきたリフレッシュ学園

(1) 利用状況

学園生 12人 (10月1日現在)	市内小学生	男子 1人	女子 0人
	市外小学生	男子 1人	女子 0人
	市内中学生	男子 3人	女子 4人
	市外中学生	男子 2人	女子 1人
		男子 7人	女子 5人
体験入園 1人 (9月1日～30日)	市内小学生	男子 0人	女子 0人
	市外小学生	男子 0人	女子 0人
	市内中学生	男子 0人	女子 0人
	市外中学生	男子 0人	女子 0人
		男子 0人	女子 0人

- (2) 活動内容
(9月15日～
10月14日)
トレッキング体験(藤里町岳台自然観察教育林)サイクリング体験(上小阿仁、二ツ井)
トチの実笛製作体験、イカダ片付け体験、コブ杉見学、花壇撤去作業体験、木工作
体験(貝殻アート)、自然体験(工作材料採取、コハゼ収穫、山の生き物探し、キノコ
採取(スギヒラタケ))、農作業体験(サツマイモ収穫、マイタケ収穫、ハチミツ採取・瓶詰
作業)、パークゴルフ体験

③ 学校給食

(1) 10月の地場産物メニューの紹介

【鷹巣北部】 「沖縄県ご当地メニュー」 10月28日(火)提供

- ・献立 : タコライス、もずくスープ。青りんごグミ、牛乳
- ・北秋田市産食材 : 米、大豆、白神にんにく

タコライスは、ご飯の上にタコの具をのせた沖縄県発祥の料理です。給食では、トマトやレタスの代わりに、ニンジン、ピーマンを具の中にたくさんいれました。トルティーヤチップスと混ぜながらメキシコ風味を楽しんでください。

【鷹巣南部】 「食育の日メニュー」 10月17日(金)提供

- ・献立 : 桃豚チーズインミートローフ、さつまいもとふじのスイート煮、ABCミネストローネ
米粉パン、黒ごまクリーム、牛乳
- ・北秋田市産食材 : りんご、大豆、桃豚、白神にんにく

秋田県産の食材を味わうメニューです。さつまいも、トマトは秋田県産、りんご「ふじ」、豚肉及び大豆は北秋田市産を使用しています。メインのミートローフは、味付けに塩こうじを使い、お肉の旨味を引き出したやさしい味わいです。

【もりよし】 「食材無償提供事業メニュー」 10月15日(水)提供

- ・献立 : シシリアンライス、ふきとベーコンのスープ、元気ヨーグルト、牛乳
- ・北秋田市産食材 : 米、松尾牛、ふきの水煮、ねぎ

シシリアンライスは、佐賀のご当地グルメでご飯の上に野菜と炒めた肉を載せたものです。また、株式会社松尾様から松尾牛を、JA秋田たかのす様から令和7年産米を無償で提供いただいた食材を使用しております。北秋田市産のブランド牛である松尾牛の甘みのある上質なお肉と、農家さんが丹精込めて栽培した美味しいご飯を堪能してください。

(2) 事故報告(異物混入) 9月16日(火)～10月17日(金)

①鷹巣北部学校給食センター

【事故発生日】令和7年9月30日(火)

【発生状況】 鷹巣中学校へ提供した「ご飯」に、約1mmの石が混入しているのを生徒が「ご飯」の盛り付け中に発見しました。

この異物についてはご飯に混入していたことから、JA秋田たかのすが炊飯委託業者である木村精肉店に納入していた米に混入していたものと思われます。

事後の対応としては、木村精肉店及びJA秋田たかのすに状況を説明し、異物が混入していたとは断定できないが、気を付けていただくよう要請しました。

行 事 報 告

月	日	曜	計 画 事 項	場 所	備 考
10	3	金	不登校対策検討委員会	第二庁舎	
	10	金	市校長会経営研修会	鷹巣中学校	
	14	火	登校支援ネットワーク連携会議	第二庁舎	
	17	金	就学児童等の教育支援に関する小委員会	第二庁舎	
	23	木	年長児公開保育	中央保育園	市教委・こども課
	24	金	東北地区道德教育研究大会	山瀬小・田代中	米小 6 年生・阿仁学園 9 年生授業提供
	29	水	K. K うめえ B E A R 給食	北秋田・上小阿 仁各校	市教育センター栄養教 諭部会
<p>【各校学校祭及び学習発表会等】</p> <p>10月 4日（土）鷹巣中、森吉中、合川中</p> <p>10月 5日（日）東小、綴子小、清鷹小、阿仁学園</p> <p>10月11日（土）鷹巣小、合川小</p> <p>10月12日（日）米内沢小（学習発表会・創立150周年記念式典・祝賀会）</p> <p>【産業祭 10月18日（土）ステージ発表】 鷹巣中、森吉中、合川中</p> <p>【秋田活性化選手権 10月18日（土）】 鷹巣中、阿仁学園</p> <p>【浜辺の歌音楽祭 10月25日（土）】</p> <p>東小、米内沢小、鷹巣中 （同日米内沢小低学年は浜辺の歌音楽館で発表）</p> <p>【視察等受入】</p> <p>10月20日（月）・21日（火）二本松市教育委員会（阿仁学園・米小・森中）</p> <p>10月29日（水）鈴鹿市自民党市議団（阿仁学園）</p> <p>11月 7日（金）福島県田村市議会（市教委）</p>					

行 事 予 定

月	日	曜	計 画 事 項	場 所	備 考
11	5	水	教育支援委員会	第二庁舎	
	7	金	東北書写書道研究大会	米内沢小 市民ふれあいプラザ	
	19	水	国立市友好交流事業（視察派遣）～21日	国立市	米小：鈴木雅翔教諭 教委：茂内課長
	26	水	なかよし交流会	市民ふれあいプラザ	
	26	水	国立市友好交流事業（派遣受け入れ～28日）	鷹巣小・鷹巣中	
	27	木	教育センター生徒指導主事部会	交流センター	

- 1 令和 7 年 10 月 1 日現在児童・生徒数 (前月比)

小学校・義務教育学校前期：	8 5 7 人	(－ 2)
中学校・義務教育学校後期：	5 1 6 人	(± 0)
合計	1 3 7 3 人	(－ 2)

※各校の詳細は資料参照

鷹巣小	－ 1	県外へ
米内沢小	－ 2	県外へ
清鷹小	＋ 1	大館市から

- 2 職員の異動等
 - ・米内沢小学校 特別非常勤講師 佐藤かおる (R7.10.1 ～ R7.12.25)

- 3 不審者等の情報
 - ・ 9 月 29 日 (月) 午後 7 時 20 分 鷹巣松葉町の路上で女子高校生が、走行中の車内の男から「おーい、バイバイ」と声をかけられた。男は 20 代～30 代。白の軽トラック。
 - ・ 10 月 9 日 (木) 午後 4 時 10 分頃 材木町の交差点に停止した車両の運転席の男がニヤニヤした顔で女子高校生らを見ていた。車両が通り過ぎると、男が助手席の窓から身を乗り出して女子高校生らに中指を立てた。男は 20 代～30 代。白の軽トラック。

- 4 クマやサルを目撃情報への対応 別紙参照
 - ・クマ (サル) の出沒 9 月 25 日 (木) ～ 10 月 17 日 (金) 午前 10 時現在 150 件 (内サル 3 件)
 - ・栗の木、豆畑など、餌のある場所に出没。同じ場所に繰り返し出没する傾向。
 - ・民家近く、市街地に出没。

令和7年度児童生徒数

令和7年10月1日現在

(単位:人)

学校名	1年生			2年生			3年生			4年生			5年生			6年生			計		
鷹巣小学校	男	21	36	男	32	49	男	27	52	男	30	60	男	27	49	男	26	47	男	163	293
	女	15		女	17		女	25		女	30		女	22		女	21		女	130	
鷹巣東小学校	男	5	12	男	8	13	男	3	12	男	5	14	男	3	4	男	7	17	男	31	72
	女	7		女	5		女	9		女	9		女	1		女	10		女	41	
綴子小学校	男	4	11	男	3	5	男	5	11	男	5	12	男	6	12	男	9	19	男	32	70
	女	7		女	2		女	6		女	7		女	6		女	10		女	38	
清鷹小学校	男	9	19	男	10	19	男	17	21	男	8	18	男	12	28	男	10	20	男	66	125
	女	10		女	9		女	4		女	10		女	16		女	10		女	59	
米内沢小学校	男	10	22	男	7	15	男	11	18	男	10	22	男	5	16	男	14	28	男	57	121
	女	12		女	8		女	7		女	12		女	11		女	14		女	64	
合川小学校	男	12	17	男	10	17	男	17	27	男	14	25	男	11	27	男	12	32	男	76	145
	女	5		女	7		女	10		女	11		女	16		女	20		女	69	
義務教育学校 阿仁学園 (前期課程)	男	0	3	男	1	2	男	1	5	男	2	7	男	5	6	男	7	8	男	16	31
	女	3		女	1		女	4		女	5		女	1		女	1		女	15	
計	男	61	120	男	71	120	男	81	146	男	74	158	男	69	142	男	85	171	男	441	857
	女	59		女	49		女	65		女	84		女	73		女	86		女	416	

学校名	1年生			2年生			3年生													計
鷹巣中学校	男	53	94	男	57	114	男	61	113									男	171	321
	女	41		女	57		女	52										女	150	
森吉中学校	男	13	20	男	17	28	男	9	31									男	39	79
	女	7		女	11		女	22										女	40	
合川中学校	男	14	32	男	13	28	男	15	29									男	42	89
	女	18		女	15		女	14										女	47	
義務教育学校 阿仁学園 (後期課程)	男	5	6	男	8	10	男	9	11									男	22	27
	女	1		女	2		女	2										女	5	
計	男	85	152	男	95	180	男	94	184									男	274	516
	女	67		女	85		女	90										女	242	

総 数 1,373

【生涯学習課】

令和7年

行事報告

生涯学習係

月	日	曜	報告事項	場所	備考
10	2	木	定期講座「韓国語講座」	市民ふれあいプラザ	8人 16日・30日
	3	金	北地区社会教育関係職員第2回研修会	異人館・伊勢堂岱縄文遺跡	23人
	6	月	定期講座「ストレッチヨガ教室」	市民ふれあいプラザ	18人
	7	火	定期講座「はじめてのオカリナ教室」	市民ふれあいプラザ	8人・21日
	9	木	森吉コミュニティセンター改築に係る住民説明会	森吉コミュニティセンター	31人
	13	月	秋田フィンランド協会「モルック体験会in上小阿仁」	上小阿仁村生涯学習センター	17人
	15	水	定期講座グッドライフ「心の凝りをほぐす大人の絵本講座」	市民ふれあいプラザ	16人
	16	木	秋田県生涯学習奨励委員協議会創立50周年記念行事 SOSの出し方授業 in 綴子小学校	県生涯学習センター 綴子小学校	サテライト会場 市民ふれあいプラザ
	17	金	北教育事務所社会教育関係職員市町村教育委員会訪問	市民ふれあいプラザ	
			高鷹大学「学園祭」	市民ふれあいプラザ	
	21	火	合川公民館ロビー展inコムコム「木村けい子・松橋裕子・梅田裕子『絵手紙展』」	市民ふれあいプラザ	9/23～
	22	水	家庭教育支援チーム「つみ木広場」	鷹巣東保育園	
	27	月	SOSの出し方授業 in 鷹巣小学校	鷹巣小学校	
	28	火	北鹿地区社会教育関係委員等研修会	鹿角市十和田市民センター	
	30	木	全県花だんコンクール表彰式 東北地区社会教育研究大会・東北地区公民館大会	秋田市遊学舎 岩手県盛岡市	～31日
	31	金	北秋田市花だんコンクール表彰式	市民ふれあいプラザ	

令和7年

行事報告

文化財係

月	日	曜	報告事項	場所	備考
10	15	水	民具整理	文化財収蔵庫	～17日

令和7年

行事報告

鷹巣地区公民館

月	日	曜	報告事項	場所	備考
10	3	金	綴子公民館定期講座「オカリナ講座」	綴子公民館	17日
	4	土	七座公民館定期講座「リズム体操講座」	七座公民館	
	5	日	坊沢公民館「パークゴルフ大会」	坊沢公民館	
	6	月	坊沢公民館定期講座「ヨガ入門講座パート2」 沢口公民館定期講座「絵手紙講座」	坊沢公民館 沢口公民館	
	8	水	沢口公民館定期講座「いきいきクラブ」	沢口公民館	
	10	金	栄公民館定期講座「ザ・家庭料理アラカルト」講座	栄公民館	
	14	火	坊沢公民館定期講座「悠々ものづくり講座」	坊沢公民館	
	16	木	七日市公民館定期講座「みんなで歌おう愛唱歌」	七日市公民館	
	17	金	七座公民館定期講座「趣味を楽しむ講座」	七座公民館	
	21	火	七日市公民館定期講座「やさしいパッチワーク教室」	七日市公民館	
	25	土	綴子公民館定期講座「こぎん刺し・木のアクセサリ作り」	綴子公民館	
	28	火	栄公民館定期講座「キラッと樺細工」講座	栄公民館	

令和7年

行事報告

合川公民館

月	日	曜	報告事項	場所	備考
10	1	水	定期講座「みんなの保健室」	合川公民館	4人
			定期講座「みんなの子育て保健室」	合川公民館	3人
	3	金	定期講座「ピラティス講座」	合川公民館	25人
			定期講座「パソコン講座エクセル編」	あいターミナル	
	4	土	短期講座「ワードで伝えるパソコン講座」	あいターミナル	
	6	月	合川ことぶき大学おさんぽクラブ「移動活動」	弘前公園	
	7	火	定期講座「脳トレ！健康マージャン」	合川公民館	
	8	水	短期講座「栗の渋皮煮の作り方講座」	合川公民館	
	10	金	定期講座「発酵×健康 腸活講座」	合川公民館	
	15	水	短期講座「～デキル男は料理上手～男性の手料理デビュー講座」②	合川公民館	
	17	金	短期講座「～秋風と超ゆっくり歩く～紅葉の森吉山トレッキング」	森吉山	
			定期講座「パソコン講座エクセル編」	あいターミナル	
	18	土	短期講座「ワードで伝えるパソコン講座」	あいターミナル	
	20	月	合川ことぶき大学「移動研修～康楽館観劇～」	小坂町康楽館	

令和7年

行事報告

森吉・前田公民館

月	日	曜	報告事項	場所	備考
10	7	火	前田公民館定期講座「薬膳料理教室」	前田公民館	
	8	水	森吉公民館定期講座「未来に残したい郷土料理講座」	森吉コミュニティセンター	
	9	木	森吉公民館定期講座「音楽館レコード倶楽部」	浜辺の歌音楽館	
			前田公民館定期講座「はじめての健康マージャン教室」	前田公民館	
	14	火	森吉公民館定期講座「はじめての野鳥観察講座」	鷹巣中央公園	
	15	水	前田公民館短期講座「森吉山自然山歩」	森吉山	
	16	木	森吉公民館定期講座「あかり作り講座」	森吉コミュニティセンター	
	22	水	森吉公民館定期講座「壮快！スポーツ・レク講座」	森吉コミュニティセンター	
	23	木	森吉公民館定期講座「もりよし社会科倶楽部～市内探訪」	市内	
			前田公民館定期講座「はじめての健康マージャン教室」	前田公民館	
			合川公民館ロビー展in森吉公民館「木村けい子・松橋裕子・梅田裕子『絵手紙展』」	森吉コミュニティセンター	～11/9

令和7年

行事報告

阿仁・大阿仁公民館

月	日	曜	報告事項	場所	備考
10	6	月	阿仁公民館定期講座「現地学校講座」	秋田市	
	9	木	阿仁公民館定期講座「体質改善道場」	阿仁公民館	23日
	13	月	阿仁公民館定期講座「かわいいつるしひな飾り」	阿仁公民館	27日
	14	火	大阿仁公民館定期講座「フレイル予防で元気アップ！」	大阿仁公民館	28日
	23	木	阿仁公民館定期講座「ニュースポーツ講座」	阿仁公民館	

令和7年

行事報告

鷹巣・森吉図書館

月	日	曜	報告事項	場所	備考
10	3	金	協議会「令和7年度北日本図書館連盟研究協議会」	福島県立図書館 (オンライン)	2人参加
	6	月	令和7年度県北図書館協会第2回職員研修会(移動研修)	鹿角市内	6人参加
	17	金	北秋田市読書感想文・読書感想画コンクール募集	鷹巣図書館	8/18～
	23	木	きたあきた読書まつり(～11/30)	各図書館・各図書室	
	29	水	読書感想文コンクール審査会	文化会館	
	30	木	読書感想画コンクール審査会	交流センター	

令和7年

行事予定

生涯学習係

月	日	曜	予 定 事 項	場 所	備 考
11	4	火	定期講座「はじめてのオカリナ教室」	市民ふれあいプラザ	18日
	10	月	定期講座「ストレッチヨガ教室」	市民ふれあいプラザ	
			第6回家庭教育支援チーム会議	市民ふれあいプラザ	
	11	火	令和7年度北秋地区生涯学習奨励員協議会「研究大会」	市民ふれあいプラザ	
			秋田県北地区社会教育主事協会第2回役員会	北秋田地域振興局	
	12	水	あきたやさしい日本語キャラバンinきたあきた	市民ふれあいプラザ	秋田県 国際交流協会
	13	木	定期講座「韓国語講座」	市民ふれあいプラザ	20日
	14	金	第3回社会教育委員の会議	市民ふれあいプラザ	
	15	土	第25回子どもたちの伝承芸能合同発表会	交流センター	
	中旬		第3回森吉コミュニティセンター改築検討委員会	森吉コミュニティセンター	
	17	月	SOSの出し方授業	鷹巣東小学校	東京都健康長寿 センター研究所
	18	火	SOSの出し方授業	鷹巣中学校、米内沢小学校	東京都健康長寿 センター研究所
	19	水	短期講座「イスでyoga」	市民ふれあいプラザ	
	25	火	短期講座「香り味わう、楽しむコーヒー講座」	市民ふれあいプラザ	
			第7回家庭教育支援チーム会議	市民ふれあいプラザ	
	27	木	高齢者大学合同講座	文化会館	

令和7年

行事予定

文化財係

月	日	曜	予 定 事 項	場 所	備 考
11	17	月	令和7年度秋田県民俗芸能功労者表彰式	県庁 教育委員室	第二庁舎7階

令和7年

行事予定

鷹巣地区公民館

月	日	曜	報 告 事 項	場 所	備 考
11	1	土	坊沢公民館まつり	坊沢公民館	～2日
			綴子公民館まつり	綴子公民館	～3日
			七座公民館定期講座「リズム体操講座」	七座公民館	
	4	火	坊沢公民館定期講座「ヨガ入門講座パート2」	坊沢公民館	
			沢口公民館定期講座「絵手紙講座」	沢口公民館	
	5	水	沢口公民館定期講座「いきいきクラブ」	沢口公民館	
	7	金	綴子公民館定期講座「オカリナ講座」	綴子公民館	14日
	10	月	坊沢公民館定期講座「悠々ものづくり講座」	坊沢公民館	
	14	金	栄公民館定期講座「ザ・家庭料理アラカルト」講座	栄公民館	
	18	火	七日市公民館定期講座「やさしいパッチワーク教室」	七日市公民館	
	20	木	七日市公民館定期講座「みんなで歌おう愛唱歌」	七日市公民館	
	21	金	七座公民館定期講座「趣味を楽しむ講座」	七座公民館	
	22	土	綴子公民館定期講座「こぎん刺し・木のアクセサリー作り」	綴子公民館	
	25	火	栄公民館定期講座「キラッと樺細工」講座	栄公民館	

令和7年

行事予定

合川公民館

月	日	曜	予 定 事 項	場 所	備 考
11	4	火	定期講座「脳トレ！健康マージャン」	合川公民館	
	5	水	定期講座「みんなの保健室」	合川公民館	
			定期講座「みんなの子育て保健室」	合川公民館	

令和7年

行事予定

合川公民館

月	日	曜	予 定 事 項	場 所	備 考
11	7	金	定期講座「ピラティス講座」	合川公民館	21日
			定期講座「パソコン講座エクセル編」	あいターミナル	
			合川ことぶき大学「学習会」 合川中学校講演「いのちを守る」	合川中学校	
	11	水	短期講座「サンドブラスト講座」	合川公民館	
	19	水	短期講座「～デキル男は料理上手～男性の手料理デビュー講座」③	合川公民館	
	27	木	高齢者大学合同講座	文化会館	

令和7年

行事予定

森吉・前田公民館

月	日	曜	予 定 事 項	場 所	備 考
11	4	火	前田公民館定期講座「薬膳料理教室」	前田公民館	
	6	木	森吉公民館定期講座「もりよし社会科倶楽部～秋田市探訪」	秋田市	
	9	日	合川公民館ロビー展in森吉公民館「木村けい子・松橋裕子・梅田裕子『絵手紙展』」	森吉コミュニティセンター	10/23～
	11	火	第4回森吉大学学習会	米内沢小学校	
	13	木	森吉公民館定期講座「音楽館レコード倶楽部」	浜辺の歌音楽館	
			前田公民館定期講座「はじめての健康マージャン教室」	前田公民館	
	16	日	もりよし文化交流会	森吉コミュニティセンター	
	20	木	森吉公民館定期講座「あかり作り講座」	森吉コミュニティセンター	
	21	金	森吉公民館定期講座「はじめての野鳥観察講座」	大潟村	
	26	水	森吉公民館定期講座「壮快！スポーツ・レク講座」	森吉コミュニティセンター	
	27	木	前田公民館定期講座「はじめての健康マージャン教室」	前田公民館	
			高齢者大学合同講座	文化会館	
			森吉公民館定期講座「健康やさい作り講座」	本城地内	サツマイモ掘り

令和7年

行事予定

阿仁・大阿仁公民館

月	日	曜	予 定 事 項	場 所	備 考
11	8	土	阿仁文化交流のつどい	阿仁公民館	～9日
	11	火	合川公民館ロビー展in阿仁公民館「木村けい子・松橋裕子・梅田裕子『絵手紙展』」	阿仁公民館	～25日
	12	水	阿仁生き生き大学移動研修	秋田市	
	20	木	阿仁公民館短期講座「クリスマス・正月向け生け花講座」	阿仁公民館	
	27	木	高齢者大学合同講座	文化会館	

令和7年

行事予定

鷹巣・森吉図書館

月	日	曜	予 定 事 項	場 所	備 考
11	1	土	図書館イベント「きたあきた読書まつり」	各図書館・公民館図書室	
	6	木	北秋田市読書感想画コンクール受賞作品展示	文化会館	～11/30
	28	金	コンクール表彰式リハーサル	文化会館	
	29	土	北秋田市読書感想文・読書感想画コンクール表彰式	文化会館	
	30	日	図書館イベント「きたあきた読書まつり」	各図書館・公民館図書室	10/23～

工 事 等 発 注 一 覧 表

令和7年9月1日～令和7年9月30日

※ 150万円以上（消費税含む）

(単位：円)

[illegible]

議案第 25 号

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

令和 6 年度教育委員会事務の点検及び評価について、別紙のとおり報告書を北秋田市議会に提出するとともに公表する。

令和 7 年 10 月 30 日提出

北秋田市教育委員会教育長 佐 藤 昭 洋

提案理由

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条に基づき、北秋田市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則第 2 条の規定により、教育委員会の決定を得る必要があるため、提案するものである。なお、報告書は議会に提出するとともに公表するものである。

議案第25号

【最終案】

令和6年度

北秋田市教育委員会

点検・評価報告書

令和7年10月

北秋田市教育委員会

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価

点検及び評価の対象年度　：　令和6年度

<構成内容>

1	点検・評価の趣旨等	P 1
	(1) 点検・評価の趣旨	
	(2) 点検・評価の対象	
	(3) 点検・評価の方法	
	(4) 学識経験者の知見の活用	
	(5) 報告書の作成経緯	
	(6) 北秋田市教育委員会教育長・委員名簿	
2	教育委員会の会議開催状況	P 3
3	教育委員会の会議審議状況	P 3
	○令和6年度　教育委員会審議案件一覧	
	(1) 令和6年度　附議案件	
	(2) 令和6年度　承認案件	
	(3) 令和6年度　報告案件	
	(4) 令和6年度　その他案件	
4	総合教育会議開催状況	P 7
	○令和6年度　総合教育会議審議案件一覧	
	(1) 令和6年度　審議案件	
5	教育事務の点検評価書【総合点検・評価】	P 8
6	点検評価の基本的な考え方について	P 9
7	教育事務の点検評価書【総合点検・評価】	P 10
8	主要事務事業点検・評価票	P 11
	【点検・評価対象事務事業一覧】	
	【個別点検・評価票】	

(6) 北秋田市教育委員会教育長・委員名簿

(令和7年3月31日現在)

職 名	氏 名	委員任期
教 育 長	佐 藤 昭 洋	平成29年5月1日 ～令和8年4月30日
委 員 (教育長職務代理者)	佐 藤 英 樹	令和元年5月14日 ～令和9年5月13日 (令和6年5月14日～ 令和9年5月13日)
委 員	佐 藤 正 俊	平成20年5月14日 ～令和10年5月13日
委 員	藤 本 基 子	平成30年5月14日 ～令和8年5月13日
委 員	蒔 苗 隆	平成30年10月10日 ～令和7年5月13日

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 教育委員会の会議開催状況

教育委員会議については、原則として毎月1回の「教育委員会定例会」と、状況に応じた「教育委員会臨時会」を開催しています。令和6年度は、合計で12回開催しました。

(1) 教育委員会定例会・・・12回

(2) 教育委員会臨時会・・・0回

No	開催日	案件数				所要時間	出席 委員数	備考
		議決	承認	報告	その他			
1	R6. 4. 25	1	1	2	2	106分	4	
2	R6. 5. 30		1		2	60分	3	
3	R6. 6. 20	1			2	70分	4	
4	R6. 7. 25	3			2	120分	4	
5	R6. 8. 22		1		2	69分	4	
6	R6. 9. 26	1			2	88分	4	
7	R6. 10. 31	4		1	2	83分	4	
8	R6. 11. 28		1	3	2	91分	4	
9	R6. 12. 26	1	2		2	96分	4	
10	R7. 1. 30	1			2	74分	4	
11	R7. 2. 27	4	3	1	2	205分	4	
12	R7. 3. 27	11	2	1	2	106分	4	
	計	27	11	8	24	1048分	47	

※出席委員数に教育長は含みません。

3 教育委員会の会議審議状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第25条及び北秋田市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（平成17年教育委員会規則第6号）第2条の規定に基づき、令和6年度は合計で27件について審議しました。

<令和6年度 教育委員会審議案件一覧>

(1) 令和6年度 附議案件

議案番号	件 名	提出年月日
R6年21	第3期北秋田市子ども読書活動推進計画について	R6. 4. 25
22	北秋田市教育委員会点検評価委員の委嘱について	R6. 6. 20
23	令和5年度北秋田市教育委員会点検・評価報告書について	R6. 7. 25
24	北秋田市立学校管理規則の一部を改正する規則の制定について	R6. 7. 25
25	北秋田市民ふれあいプラザ管理規則の一部を改正する規則の制定について	R6. 7. 25
26	北秋田市文化及び文化財保護継承事業補助金交付要領の一部を改正する告示について	R6. 9. 26

議案番号	件 名	提出年月日
27	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について	R6. 10. 31
28	令和 6 年度全国学力・学習状況調査の結果分析の公表について	R6. 10. 31
29	北秋田市立学校管理規則の一部を改正する規則の制定について	R6. 10. 31
30	第 4 次北秋田市社会教育中期計画の改定について	R6. 10. 31
31	北秋田市民ふれあいプラザ子育て世代支援スペース使用要綱の一部を改正する訓令の制定について	R6. 12. 26
R7年1	北秋田市幼保小架け橋委員会設置要綱の制定について	R7. 1. 30
2	北秋田市招致外国青年の任用に関する規則の一部を改正する規則の制定について	R7. 2. 27
3	北秋田市学校施設の長寿命化計画の変更について	R7. 2. 27
4	県費負担教職員の内申について	R7. 2. 27
5	服務監督者としての対応について	R7. 2. 27
6	北秋田市教育委員会が定める申請書等の様式における押印の取扱い等に関する規則の一部を改正する規則について	R7. 3. 27
7	北秋田市教育財産管理規則の制定について	R7. 3. 27
8	あきたフレッシュ学園管理運営要綱の一部を改正する訓令の制定について	R7. 3. 27
9	北秋田市不登校対策検討委員会設置要綱の制定について	R7. 3. 27
10	幼保小架け橋プログラム促進事業実施要綱の制定について	R7. 3. 27
11	北秋田市公民館運営審議会委員の委嘱について	R7. 3. 27
12	北秋田市社会教育委員の委嘱について	R7. 3. 27
13	北秋田市図書館協議会委員の任命について	R7. 3. 27
14	北秋田市生涯学習奨励員の委嘱について	R7. 3. 27
15	北秋田市青少年問題協議会委員の委嘱について	R7. 3. 27
16	北秋田市文化財保護審議会委員の委嘱について	R7. 3. 27

※議案番号は、暦年による一連番号を記載。

(2) 令和6年度 承認案件

承認番号	件 名	提出年月日
R6年2	専決処分の承認を求めることについて（専決第4号 令和5年度北秋田市一般会計補正予算（第13号）について）	R6. 4. 25
3	専決処分の承認を求めることについて（専決第5号 令和6年度北秋田市一般会計補正予算（第2号）のうちの関係部分について）	R6. 5. 30
4	専決処分の承認を求めることについて（専決第8号 令和6年度北秋田市一般会計補正予算（第5号）のうちの関係部分について）	R6. 8. 22
5	専決処分の承認を求めることについて（専決第10号 令和6年度北秋田市一般会計補正予算（第8号）のうちの関係部分について）	R6. 11. 28
6	専決処分の承認を求めることについて（専決第14号 北秋田市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について）	R6. 12. 26
7	専決処分の承認を求めることについて（専決第15号 令和6年度北秋田市一般会計補正予算（第9号）のうちの関係部分について）	R6. 12. 26
R7年1	市議会提出議案に関する意見聴取について（専決第2号 令和6年度北秋田市一般会計補正予算（第10号）の関係部分について）	R7. 2. 27
2	市議会提出議案に関する意見聴取について（専決第3号 令和7年度北秋田市一般会計予算の関係部分について）	R7. 2. 27
3	市議会提出議案に関する意見聴取について（専決第4号 工事請負契約の締結について（旧阿仁中校舎解体工事））	R7. 2. 27
4	専決処分の承認を求めることについて（専決第5号 北秋田市教育委員会事務局課長の任免について）	R7. 3. 27
5	市議会提出議案に関する意見聴取について（専決第6号 令和6年度北秋田市一般会計補正予算（第11号）の関係部分について）	R7. 3. 27

※承認番号は、暦年による一連番号を記載。

(3) 令和6年度 報告案件

番号	件 名	提出年月日
R6年3	専決処理の報告について（専決第5号 学校医等の委嘱について）	R6. 4. 25
4	専決処理の報告について（専決第6号 学校事務共同実施グループリーダー等の任命について）	R6. 4. 25
5	専決処理の報告について（専決第9号 公文書の開示について）	R6. 10. 31
6	専決処理の報告について（専決第11号 公文書の開示について）	R6. 11. 28
7	専決処理の報告について（専決第12号 公文書の開示について）	R6. 11. 28
8	専決処理の報告について（専決第13号 公文書の開示について）	R6. 11. 28
R7年1	専決処理の報告について（専決第1号 公文書の開示について）	R7. 2. 27
2	専決処理の報告について（専決第7号 北秋田市教育委員会事務局職員の任免について）	R7. 3. 27

※報告番号は、暦年による一連番号を記載。

(4) 令和6年度 その他案件

番号	件 名	提出年月日
1	教育長報告	R6. 4. 25
2	各課長所管報告	R6. 4. 25
3	教育長報告	R6. 5. 30
4	各課長所管報告	R6. 5. 30
5	教育長報告	R6. 6. 20
6	各課長所管報告	R6. 6. 20
7	教育長報告	R6. 7. 25
8	各課長所管報告	R6. 7. 25
9	教育長報告	R6. 8. 22
10	各課長所管報告	R6. 8. 22
11	教育長報告	R6. 9. 26
12	各課長所管報告	R6. 9. 26
13	教育長報告	R6. 10. 31
14	各課長所管報告	R6. 10. 31
15	各課工事発注状況	R6. 10. 31
16	教育長報告	R6. 11. 28
17	各課長所管報告	R6. 11. 28
18	各課工事発注状況	R6. 11. 28
19	教育長報告	R6. 12. 26
20	各課長所管報告	R6. 12. 26
21	各課工事発注状況	R6. 12. 26
22	教育長報告	R7. 1. 30
23	各課長所管報告	R7. 1. 30
24	各課工事発注状況	R7. 1. 30
25	教育長報告	R7. 2. 27
26	各課長所管報告	R7. 2. 27
27	各課工事発注状況	R7. 2. 27
28	教育長報告	R7. 3. 27
29	各課長所管報告	R7. 3. 27
30	各課工事発注状況	R7. 3. 27

4 総合教育会議開催状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成26年法律第76号）の施行により、平成27年度から「総合教育会議」を設置しています。

総合教育会議では、市長と教育委員会が協議を行い、教育に関する総合的な施策の大綱を策定する他、教育の条件整備など重点的に構すべき施策、児童・生徒等の生命・身体の保護等緊急の場合に講ずべき措置等について協議・調整を行います。令和6年度は2回開催しました。

＜令和6年度 総合教育会議審議案件一覧＞

（1）令和6年度 審議案件

番号	件 名	年月日
1	北秋田市教育大綱の一部変更について	R6. 5. 30
2	北秋田市総合教育会議運営要綱の一部改正について	R6. 5. 30
3	令和6年度主な教育施策について	R6. 5. 30
4	「北秋田市立学校部活動地域連携・移行推進計画」について	R6. 5. 30
5	令和6年度主な教育施策の実施状況（上半期）について	R6. 10. 31
6	ICTの活用等について	R6. 10. 31

5 教育事務の点検評価書【総合点検・評価】

令和6年度における教育委員会の当初予算は21億9220万6千円でありましたが、3億3398万3千円の増額補正があり、予算合計が25億2618万9千円となっています。これは、前年度予算と比較して5327万4千円増加、一般会計に占める教育費の割合は約8.4%で、前年度に比べ約0.4%減少しています。

会議については、教育委員会を12回、総合教育会議を2回開催しました。総合教育会議では、市長、教育長と教育委員が一堂に会し、北秋田市における「学校教育」や「社会教育」など教育全般にわたり、教育理念や方針、施策や事業等について有意義な協議、意見交換が行われました。

令和6年度における教育委員会の主要施策についての個別点検・評価について、次頁以降に示している26事業を対象として、「アウトカム型」「アウトプット型」「ロードマップ型」「例年実施型」「緊急対策型」の5つの類型で32の評価指標を設定しました。なお、令和6年度の機構改革により、生涯学習から芸術文化、世界文化遺産が、またスポーツ振興課が観光文化スポーツ部に移管したため、事業数が大幅に減少しています。

目標値を設定した「アウトカム型」「アウトプット型」は15指標の内、小・中学校校務支援システム導入事業や北秋田市民ふれあいプラザ管理事業、公民館講座開設事業、民俗芸能大会事業など5指標で目標値を達成したほか、4指標で一部達成し、6指標が達成できませんでした。特に、北秋田市民ふれあいプラザ管理事業のふれあいプラザ利用者数はここ数年で増加しております。また、民俗芸能大会交流人口も順調に推移しており、令和5年度から参加団体数を1増やし、お囃子や太鼓に合わせ舞や踊りを披露する姿に多くの拍手が送られました。一方、高齢者教育事業や公民館管理事業における年間施設利用者数など、減少が続いているため課題が残ります。

事業進捗を年次で示した「ロードマップ型」は3指標で、義務教育学校阿仁学園統合改修事業は令和6年度をもって終了します。

目標値の設定が馴染まない「例年実施型」が14指標で、令和6年度「緊急対策型」はありませんでした。

これらの点検評価を終え、学識経験者からは次のような御意見をいただきました。

「本市教育大綱の目標の具現化に向けて、全26事業の評価指標及び実績、関係団体や各種委員を含めた幅広い市民の意見を取り入れながら、今後の方向性を見いだし官民一体となった事業が展開されている。一つ一つの事業に様々な工夫や改善が見られ、着実に実践されている。少子高齢化が加速している現状を踏まえ、笑顔あふれるひと・まちづくりに向けた方策を意見として、記載させていただいた。また、時代の趨勢に伴い、事業名(目的及び概要)や評価指標等の見直しも、今後必要になると考えられる。令和7年度以降の本市教育大綱と併せて検討していただきたい。」

「各事業が着実に実施されている。自己評価に基づいた今後の方向性も明確である。本市も県内他市町村と同様に、人口減少という課題に直面している中で、利用者数が維持されている事業や、増加している事業もあり、各事業に対する市民の期待度や満足度が高いことが分かった。不登校対策や家庭教育支援の取組など、一人一人を大切に育む教育も充実している。今後も、市民や学校現場のニーズをタイムリーに把握して事業の推進に生かし、教育大綱の基本的な方針の具現化に努めてもらいたい。」

以上、いただいた御意見を踏まえ、より効果的な教育行政の推進に努めて参ります。

令和7年10月

北秋田市教育委員会

6 点検評価の基本的な考え方について

本市では、令和3年5月に市の教育行政の根本となる方針を定める「北秋田市教育大綱」を策定し、令和3年度から令和7年度までの5年間の施策の方針（目標）を示しました。

教育大綱では、基本的な方針を「心豊かでたくましい人間性を育む教育の充実」、「ふるさとに学び文化をはぐくみ笑顔あふれるひと・まちづくり」の2つに分類するとともに、各方針の目標を以下のとおり示しております。

令和6年度分の施策の実績については、教育大綱の基本的な方針に基づき評価することとし、この報告書では、3つの基本的な構成ごとに、各施策の実績について点検・評価を行うものとします。

〔北秋田市教育大綱の基本的な方針と目標〕

心豊かでたくましい人間性を 育む教育の充実	① 次代を切り拓くための資質・能力の育成 ② 豊かな心と健やかな体の育成 ③ ふるさとを愛し、ふるさとを支えようとする子どもの育成
ふるさとに学び文化をはぐくみ 笑顔あふれるひと・まちづくり （生涯学習）	① 協働による持続可能な地域づくり ② 共に学びあえる生涯学習の推進 ③ 子どもたちをはぐくむ学校・家庭・地域社会の連携
ふるさとに学び文化をはぐくみ 笑顔あふれるひと・まちづくり （文化）	④ 文化財保存・継承の推進

計画の進行管理にあたっては、評価指標を設定することで効果的な促進を図ることとしており、各事業の内容や期待される効果などに応じて、次の5つの類型の評価指標のいずれかを設定しました。

なお、評価指標については、各事業の達成度を評価する際の参考指標という位置付けとし、評価については各事業の進捗状況などを踏まえ総合的に行いました。

〔評価指標についての基本的な考え方〕

1 アウトカム型 （目標値設定あり）	事業を通じて直接的な効果や理解度などが測定できるもの 【例】 学力検査結果、利用者アンケート結果
2 アウトプット型 （目標値設定あり）	事業の活動や事業結果が定量的に示せるもの 【例】 入館者数、登録数
3 ロードマップ型 （目標値設定なし）	計画期間内の事業計画が決まっており、事業の進捗が年次で示せるもの 【例】 施設整備事業、タブレット端末整備事業
4 例年実施型 （目標値設定なし）	毎年同じ内容で着実に実施しているもの 【例】 就学援助事業、〇〇活動の支援事業
5 緊急対策型 （目標値設定なし）	緊急的に実施したもの 【例】 感染症緊急対策事業、災害対策事業

7 教育事務の点検評価書【総合点検・評価】

◎凡例

本市教育委員会の事務を、令和3年5月に策定した「北秋田市教育大綱」に基づき、4つの基本的な方針－目標－事業の体系とし、目標及び事業の単位において点検・評価を実施しました。

また、事業の単位において学識経験者から聴取した意見を掲載しました。

◎評価指標の表記について

計画の進行管理にあたっては、評価指標を設定することで効果的な促進を図り、各事業の内容や期待される効果などに応じて、次の5つの類型の評価指標のいずれかを設定することとします。

なお、評価指標については、各事業の達成度を評価する際の参考指標という位置付けとし、評価については各事業の進捗状況などを踏まえ総合的に行うこととします。

①アウトカム型・・・事業を通じて直接的な効果や理解度などが測定できるもの（目標値設定あり）

◆評価指標

アウトカム

◆実績

●●と答えた児童生徒の割合
●%

R2	R3	R4	R5	R6
●%	●%	●%	●%	●%

②アウトプット型・・・事業の活動や事業結果が定量的に示せるもの（目標値設定あり）

◆評価指標

アウトプット

◆実績

●●施設利用者数
●名

R2	R3	R4	R5	R6
●名	●名	●名	●名	●名

③ロードマップ型・・・計画期間内の事業計画が決まっており、事業の進捗が年次で示せるもの

◆評価指標及び実績

ロードマップ

R2	R3	R4	R5	R6
●●事業準備		●●事業実施		
●●調査完了				

←事業計画に対する実績(下段)

④例年実施型・・・毎年同じ内容で着実に実施しているもの（目標値設定なし）

◆評価指標及び実績

例年実施

R2	R3	R4	R5	R6
●●件	●●件	●●件	●●件	●●件

←事業計画に対する実績

⑤緊急対策型・・・緊急的に実施したもの（目標値設定なし）

◆評価指標及び実績

緊急対策

R2	R3	R4	R5	R6
●●件	●●件	●●件	●●件	●●件

←事業計画に対する実績

8 主要事務事業点検・評価票

【点検・評価対象事務事業一覧】

基本的な方針	目標
心豊かでたくましい人間性を育む教育の充実	①次代を切り拓くための資質・能力の育成 ②豊かな心と健やかな体の育成 ③ふるさとを愛し、ふるさとを支えようとする子どもの育成

No	事務事業名	【教育総務課】
1	あきたリフレッシュ学園・教育留学事業	例年実施/アウトプット
2	義務教育学校阿仁学園統合改修事業	ロードマップ
3	学校給食事業	アウトプット

No	事務事業名	【学校教育課】
4	遠距離通学事業	例年実施
5	教育センター事業	アウトカム
6	外国青年招致事業	アウトカム
7	総合学習補助事業	例年実施
8	小・中学校パソコン導入事業（GIGAスクール構想）	ロードマップ
9	学校生活サポート員配置事業	例年実施
10	不登校児童生徒対策事業	例年実施
11	小・中学校校務支援システム導入事業	アウトカム

基本的な方針	目標
ふるさとに学び文化をはぐくみ笑顔あふれるひと・まちづくり（生涯学習）	①協働による持続可能な地域づくり ②共に学びあえる生涯学習の推進 ③子どもたちをはぐくむ学校・家庭・地域社会の連携

No	事務事業名	【生涯学習課】
12	新成人事業	例年実施
13	日本語教室開催事業	例年実施
14	青少年育成事業	例年実施
15	花いっぱい運動推進事業	例年実施
16	地域学校協働本部事業	アウトプット/アウトカム
17	北秋田市民ふれあいプラザ管理事業	アウトプット
18	高齢者教育事業	アウトプット/アウトカム
19	公民館講座開設事業	アウトプット/アウトカム
20	公民館管理事業	例年実施
21	図書館事業	アウトプット/例年実施
22	放課後子ども教室推進事業	アウトプット
23	家庭教育支援推進事業	例年実施

基本的な方針	目標
ふるさとに学び文化をはぐくみ笑顔あふれるひと・まちづくり（文化）	④文化財保存・継承の推進

No	事務事業名	【生涯学習課】
24	文化財保護事業	例年実施
25	民俗芸能大会事業	アウトプット/例年実施
26	方言保存継承事業	ロードマップ

1	方針	心豊かでたくましい人間性を育む教育の充実					教育総務課	
		目標 ① 次代を切り拓くための資質・能力の育成						
事業名	あきたリフレッシュ学園・教育留学事業					決算額 14,076 千円		
◆事業の目的 あきたリフレッシュ学園 学校や日常生活に悩み、疲れた小・中学生に大自然の中で心と体のリフレッシュを図る場と機会を提供する。 教育留学事業 秋田の探求型授業や体験活動等を目的に来県する教育留学を推進することで、秋田の魅力を全国に発信し、関係・交流人口の増加につなげる。			◆事業概要 あきたリフレッシュ学園 県派遣の社会教育主事と教員OBの指導員が、個々に応じた学習と自然体験をコーディネートし、社会性や協調性を育む。 教育留学事業 県の委託事業であり、留学生が滞在期間や留学内容を自由に選択できる「オーダーメイド」型の留学である。市内の小中学校に通う「学習交流型」とあきたリフレッシュ学園に通う「生活改善型」があり、在籍校の出席扱いとできることから体験、長期滞在、定住とステップアップすることができる。 また、上記の教育留学を推進する事業として「短期チャレンジ留学」を夏と冬の年2回、県外の児童生徒を対象に開催している。(令和3年度以降は市単独事業)					
◆評価指標及び実績 あきたリフレッシュ学園事業			例年実施					
			実績	R2	R3	R4	R5	R6
			実人数	13人	17人	15人	23人	26人
			実人数(市内)	7人	7人	7人	11人	16人
			延べ人数	270人	447人	413人	415人	220人
教育留学事業			アウトプット					
			実績	R2	R3	R4	R5	R6
			実人数	—	—	2人	2人	2人
評価指標			延べ人数	—	—	47人	79人	51人
長期教育留学を実施した過去の留学生の人数			参考	短期留学の参加者数				
			夏期	—	—	—	15人	16人
11人(過去5年間の平均)以上			冬期	—	16人	14人	14人	14人
			計	—	16人	14人	29人	30人
◆令和6年度の実施状況								
○あきたリフレッシュ学園 体験活動を通して学校復帰を目指す不登校対策のあきたリフレッシュ学園事業では、年間約90種類の体験、調理実習や収穫など細かく分類すると約150種類の体験活動を行い、経験の獲得により自信、自己肯定感を高めることができた。また、個に応じた学習活動を行い、自分のペースで学習することができるよう学習指導から自分自身の得意科目を発見でき、また、わかる・できる喜びを味わうことで自信を深めている。これらの活動を通して自信、元気、心のエネルギーの回復ができ、学園に通うことで生活リズムが整う子もみられた。								
○教育留学 教育留学事業については令和5年度に引き続き、長期休暇時の短期留学を実施することが出来た。また、年間を通して受け入れる長期留学についても不登校傾向にある県外の児童生徒を対象に行う「生活改善型」について、中学生1人、小学生1人の留学生を受け入れたことにより、関係人口の拡大につなげることができた。 なお、長期留学生のうち小学生1名は、短期留学参加者であった。								
◆自己評価 あきたリフレッシュ学園事業は、例年実施型として評価指標を設定していない。不登校の子供が社会との接点が無ければ、将来「ひきこもり」に陥る可能性がある。リフレッシュ学園は社会との大事な接点となっていることから事業の意義は大きい。 教育留学事業は、市内の学校に通う「学習交流型」の受入れを新型コロナウイルス感染症の影響により中止しており、また学童研修センター内で実施する「生活改善型」については、募集をしたものの2人受け入れだったため評価指標を達成できなかった。短期留学については、夏期16人、冬期14人の参加があり、秋田の教育環境のよさを体験してもらい、県内への移住・定住に興味を持っていただくきっかけとなった。								
◆今後の方向性 あきたリフレッシュ学園事業は、体験活動を通じて自尊感情や自己有用感を高めるための支援を続ける。 教育留学事業は、県の委託事業が令和6年度で終了となったため、北秋田市独自の取り組みとして、「生活改善型」の対象を県内・市内児童生徒まで拡大した取り組みとしていく。								
◆評価委員の意見 生活改善型事業は、児童生徒のインターネット等の健全利用につながる。児童生徒が参加したくなる魅力ある活動内容や家庭及び関係機関へのPR方法を工夫し、一人でも多くの参加者を募りたい。 あきたリフレッシュ学園の立地と地域の人材を有効に活用した不登校対策が推進されている。短期留学の参加人数も堅調に推移していて、関係・交流人口の増加に貢献している。令和7年度から始まる市独自の「生活改善型」教育留学事業の成果にも期待したい。								

2	方針	心豊かでたくましい人間性を育む教育の充実			教育総務課
		目標	その他、特別な事業		
事業名	義務教育学校阿仁学園統合改修事業				決算額 91,000 千円
◆事業の目的 北秋田市立学校 適正規模・配置再編プランに沿った校舎等の整備充実を図り、施設の耐久性を確保する。			◆事業概要 旧阿仁合小学校校舎等を義務教育学校校舎等として整備する。		
◆評価指標及び実績		ロードマップ			
		R4	R5	R6	
		統合改修事業			
		調査・設計	施工	外構	
◆令和6年度の実施状況 屋外運動場及び駐車場等の外構工事及び収納庫の改築を行った。					
事業の概要				事業費	
業務の内容 ・ 収納庫改築工事 32,230千円 ・ 駐車場等改修工事 73,039千円 (R7繰越) ・ 屋外運動場改修工事 57,354千円 ・ その他工事 111千円 ・ 収納庫改築工事工事監理 1,276千円 ・ 完了検査手数料 29千円				91,000 千円	
◆自己評価 屋外運動場及び屋外収納庫を整備し、学園の活動に資する設備を整備することができた。 駐車場等改修工事はR6の大雨を受けて、校舎裏庭の排水改修工追加等により繰越明許となった。					
◆今後の方向性 繰越となった駐車場等改修工事の完了をもって本事業は終了する。					
◆評価委員の意見 年次計画に沿って、校舎内外の整備が終了し、阿仁の大自然と調和した教育環境が整えられた。屋外については、運動場及び駐車場の利活用や維持管理、周辺環境の整備にも努められたい。 ロードマップに沿って、順調に事業が進められている。繰越となった工事についても確実に進めて、安全で快適な教育環境を整えてもらいたい。					

3	方針	心豊かでたくましい人間性を育む教育の充実					教育総務課
		目標 ② 豊かな心と健やかな体の育成					
事業名	学校給食事業						決算額 324,177 千円
◆事業の目的 学校給食の提供				◆事業概要 市内小学校6校、中学校3校、義務教育学校1校(前期・後期)への給食提供と比内支援学校たかのす校への給食提供を受託している。			
◆評価指標及び実績							
評価指標 給食食材使用量の地場産率 41品目 秋田県産 80% 41品目 北秋田市産 25% 41品目 秋田県平均比 +3%		アウトプット			※食数は1日あたりの食数		
		実績	R2	R3	R4	R5	R6
		総食数	2,048食	1,969食	1,885食	1,768食	1,730食
		鷹巣北部	916食	879食	860食	822食	814食
		鷹巣南部	350食	354食	312食	303食	301食
		もりよし	782食	736食	713食	643食	615食
		秋田県産	81.1%	81.6%	81.6%	78.8%	79.3%
		北秋田市産	24.8%	23.1%	21.7%	36.0%	38.9%
		県平均比	+11.6%	+13.0%	+6.2%	+19.4%	
		○鷹巣北部学校給食センター 対象:鷹巣小・綴子小・鷹巣中 ○鷹巣南部学校給食センター 対象:鷹巣東小・清鷹小・比内支援学校たかのす校 ○もりよし学校給食センター 対象:合川小・米内沢小・合川中・森吉中・阿仁学園(前期・後期)					
◆令和6年度の実施状況							
○学校給食センターの厨房設備更新 (鷹巣北部) 配送用コンテナ 495,000円、ピーラー 385,000円 (鷹巣南部) 移動台 364,100円							
○学校給食支援事業 物価高騰に伴う子育て世帯の経済的軽減を図るため、精米価格高騰分のほか、令和6年度に保護者が負担した学校給食費に要する費用について、学校給食費物価高騰支援事業費補助金を交付することとした。事業費は、精米価格高騰分として1,271(千円)、補助金事業はR7年度へ繰越して実施。事業費は10,859(千円)							
○地場産食材の活用 地元農家やJA秋田たかのすからの旬な野菜を使用し、地場産物メニューを定期的に提供するとともに、定期的に市ホームページで紹介した。また、市の誘致企業であるポーランドから地場産「桃豚」を無償で提供いただき、学校給食で2回にわたり提供した。その他、食育の一環として、地域の特色・特産品を学ぶことを目的とした「K.KうめえBEAR給食(統一献立事業)」を上小阿仁村と共同して実施した。							
○食物アレルギー対策 児童生徒(新入学児童含む)の保護者と、医師の指示書を基に面談をし、代替・除去または、家庭からの持参対応を確認した。							
◆自己評価 給食メニューに地場産食材の使用に努めたことで、地場産率(北秋田市産)の目標を達成することができた。 給食食材使用量の地場産率について、41品目のうち秋田県産は評価指標80%に対して79.3%であり達成率99.1%と下回った。昨年度同様、不安定な天候により、県内産の野菜出荷量が減少したことと分析している。また、北秋田市産は評価指標25%に対して38.9%と達成率155.6%に向上したことは評価に値する。これは、地元農家と連絡を密にとりながら、旬な野菜を旬な時期に使用できるよう、献立の検討を行ったことによる成果と分析している。							
◆今後の方向性 安心・安全な学校給食提供のため、日々の衛生管理を徹底する。 地元のJAをはじめとして、農業法人や個別農家への聞き取りを行い、納入に係る課題を整理することで、地元食材の利用拡大につなげる。また、地元農家等と連携を図り、旬な地元食材を利用できる給食献立を検討する。 鷹巣北部学校給食センターは、平成10年3月竣工から27年が経過し老朽化が進んでおり、施設の更新計画を検討する必要があるが、学校統合計画との整合を図り、鷹巣南部学校給食センターとの集約化を検討しなければならない。							
◆評価委員の意見 旬な地元食材を利用した給食献立の提供及び開発は、食材提供者の育成、児童生徒の食育や郷土愛にもつながる。地元のJA、農業法人や個人農家等と連携した地場産食材活用の取組は高く評価できる。 食材使用量の地場産率は、高い目標値にもかかわらずほぼ達成しており、北秋田市産については目標値を大きく上回っていて評価できる。地域住民を対象とした給食試食会も、本市の学校給食事業への理解を深めてもらうためには有効な施策であると思う。							

4	方針	心豊かでたくましい人間性を育む教育の充実					学校教育課
		目標 ① 次代を切り拓くための資質・能力の育成					
事業名	遠距離通学事業					決算額 125,347 千円	
◆事業の目的 スクールバス等の運行により、遠距離児童生徒の通学の安全と保護者の負担軽減を図り、平等な就学の機会を確保する。また、公共交通機関の利用可能な児童生徒には、定期券を配付することで経済的な軽減を図ることを目的とする。			◆事業概要 通学距離が小学生で片道4km中学生で片道6km以上となる児童生徒を対象とし、スクールバスやスクールタクシーを運行し通学を支援。また公共交通機関の利用が可能な児童生徒には定期券を配付。				
◆評価指標及び実績		例年実施					
スクールバス運行事業							
実績		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校 児童数		1,075人	1,034人	992人	953人	880人	
中学校 生徒数		602人	567人	572人	558人	553人	
対象小学生		200人	238人	224人	205人	212人	
対象中学生		171人	149人	143人	156人	138人	
対象小学生%		18.6%	23.0%	22.6%	21.5%	24.1%	
対象中学生%		28.4%	26.3%	25.0%	28.0%	25.0%	
遠距離通学費補助事業							
実績		R2	R3	R4	R5	R6	
鷹巣南小学校学区		4人	—	—	—	—	
前田小学校学区		3人	2人	2人	1人	—	
◆令和6年度の実施状況 スクールバス運行事業においては、市所有スクールバス12路線、借上スクールバス3路線、スクールタクシー6路線を運行し、対象児童生徒350名の安全な通学に努めた。 道路交通法の改正に伴うアルコールチェックの義務化により、令和4年度から令和6年度の3ヵ年市所有のスクールバスの運行及び車両管理を民間事業者に委託し、確実に対応する様指導している。 遠距離通学費補助については、令和6年度から対象者なしとなっている。							
◆自己評価 スクールバス等の事故はなく、運行における安全対策を徹底し、安全安心な運行に努めていく。 クマ対策として、各家から乗降場所までの移動距離を短縮し、被害の無いように対応した。							
◆今後の方向性 安全安心な運行を図るため、必要な車両の台数を確保していく。また、民間事業者が有する運行管理や車両管理に関する知見・ノウハウによる安全管理体制を強化するとともに、安全・安心な運行の徹底に努めるよう事業者に指示していく。 一方で、バス運転手の高齢化に伴う人材の確保が課題である。							
◆評価委員の意見 約25%の児童生徒が利用していることから、家庭の理解と協力を得て、利用者の運動量の確保やクマ対策に留意しながら、今後も運行における安全対策を十分徹底し、安全安心な運行に努められたい。 スクールバスが安全に運行されている。クマ対策もきめ細かく行われていて評価できる。各校との連携も図りながら、今後も安全な運行に努めてもらいたい。							

5	方針	心豊かでたくましい人間性を育む教育の充実					学校教育課																																																							
		目標 ① 次代を切り拓くための資質・能力の育成																																																												
事業名	教育センター事業					決算額 1,842 千円																																																								
◆事業の目的 小・中学校の教職員研修を計画・実践し、北秋田市学校教育ビジョンに掲げる「主体的に学び、新しい時代を創造する子ども」の育成に努めることを目的とする。			◆事業概要 教育センターの組織を事業調査部、教職研修部、授業・教科部に分け、その中に各部会を設置し、教職員の研修に取り組む。また、所員発表会の開催や「北秋田の教育」の発行により、教職員の授業力の向上を図る。																																																											
◆評価指標及び実績		アウトカム																																																												
評価指標 授業研究会に関する教職員アンケート(4段階評価)において、「十分満足」と「概ね満足」の割合の合計が90%以上		<table><tr><th>実績</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr><tr><td>小学校</td><td>97.0%</td><td>96.2%</td><td>97.1%</td><td>100.0%</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>中学校</td><td>99.0%</td><td>100.0%</td><td>100.0%</td><td>100.0%</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>平均</td><td>98.0%</td><td>98.1%</td><td>98.0%</td><td>100.0%</td><td>100.0%</td></tr></table>						実績	R2	R3	R4	R5	R6	小学校	97.0%	96.2%	97.1%	100.0%	100.0%	中学校	99.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	平均	98.0%	98.1%	98.0%	100.0%	100.0%																															
実績	R2	R3	R4	R5	R6																																																									
小学校	97.0%	96.2%	97.1%	100.0%	100.0%																																																									
中学校	99.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%																																																									
平均	98.0%	98.1%	98.0%	100.0%	100.0%																																																									
県学習状況調査(児童生徒質問紙調査)における質問項目「地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う」について、「あてはまる」の割合が県平均を上回る。		<table><tr><td>小4</td><td>-3.2%</td><td>-11.8%</td><td>+2.0%</td><td>-4.1%</td><td>-1.1%</td><td>市平均(県平均)</td></tr><tr><td>小5</td><td>+6.9%</td><td>-5.1%</td><td>-1.7%</td><td>+8.4%</td><td>+9.6%</td><td>54.5 (55.6)</td></tr><tr><td>小6</td><td>-3.6%</td><td>+7.1%</td><td>-5.3%</td><td>-3.1%</td><td>+13.9%</td><td>60.6 (51.0)</td></tr><tr><td>児童平均</td><td>±0%</td><td>-3.2%</td><td>-1.7%</td><td>±0%</td><td>+7.7%</td><td>59.7 (45.8)</td></tr><tr><td>中1</td><td>+6.0%</td><td>-12.7%</td><td>+5.8%</td><td>-8.9%</td><td>-5.3%</td><td>58.4 (50.7)</td></tr><tr><td>中2</td><td>+3.4%</td><td>+6.1%</td><td>-8.2%</td><td>+5.3%</td><td>-3.1%</td><td>34.4 (39.7)</td></tr><tr><td>生徒平均</td><td>+4.7%</td><td>-3.3%</td><td>-1.2%</td><td>-1.7%</td><td>-4.2%</td><td>34.7 (37.8)</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>34.6 (38.8)</td></tr></table>					小4	-3.2%	-11.8%	+2.0%	-4.1%	-1.1%	市平均(県平均)	小5	+6.9%	-5.1%	-1.7%	+8.4%	+9.6%	54.5 (55.6)	小6	-3.6%	+7.1%	-5.3%	-3.1%	+13.9%	60.6 (51.0)	児童平均	±0%	-3.2%	-1.7%	±0%	+7.7%	59.7 (45.8)	中1	+6.0%	-12.7%	+5.8%	-8.9%	-5.3%	58.4 (50.7)	中2	+3.4%	+6.1%	-8.2%	+5.3%	-3.1%	34.4 (39.7)	生徒平均	+4.7%	-3.3%	-1.2%	-1.7%	-4.2%	34.7 (37.8)							34.6 (38.8)
小4	-3.2%	-11.8%	+2.0%	-4.1%	-1.1%	市平均(県平均)																																																								
小5	+6.9%	-5.1%	-1.7%	+8.4%	+9.6%	54.5 (55.6)																																																								
小6	-3.6%	+7.1%	-5.3%	-3.1%	+13.9%	60.6 (51.0)																																																								
児童平均	±0%	-3.2%	-1.7%	±0%	+7.7%	59.7 (45.8)																																																								
中1	+6.0%	-12.7%	+5.8%	-8.9%	-5.3%	58.4 (50.7)																																																								
中2	+3.4%	+6.1%	-8.2%	+5.3%	-3.1%	34.4 (39.7)																																																								
生徒平均	+4.7%	-3.3%	-1.2%	-1.7%	-4.2%	34.7 (37.8)																																																								
						34.6 (38.8)																																																								
◆令和6年度の実施状況 教職員の授業力向上を図るために授業研究会を実施し、8月の事前研究会では、指導案検討会の外、自校の取組や実践例についての情報交換を行い、指導法の共有を図った。若手教員はベテラン教員の授業技術を知ったり、他校の実践を知ったりすることができたという声が聞かれた。9月の研究授業は、小学校の低・中・高学団部会と特別支援教育部会、中学校教科別部会の計13授業を行い、熱心な協議が行われた。他校の授業を参観できる貴重な機会であり、自身の授業改善につなげることができたと好評であった。 郷土学習フィールドワークは19名が参加し、あきたリフレッシュ学園、あきた野ワイナリー、大館能代空港、北欧の杜公園、旧長岐家住宅、伊勢堂岱遺跡で研修を行った。野外観察会は16名が参加し、能代火力発電所を訪問し、理科授業におけるエネルギー教育の指導に生かせる説明を受けた。実技研修会には19名が参加し、書写、歌唱の指導法を学んだ。所員発表会では、学校指名式の発表から研修の報告及び希望者の発表に変更し、ICT教育の効果的な活用や国立市との交流についてなど4グループの発表を行った。その後行われた北秋田市出身のGABEZによる講演とパフォーマンスでは、多くの教員に教育活動のヒントを与えるものであった。また、教務主任部会、研究主任部会、ICT活用推進部会では、秋田大学教職大学院の教授や文部科学省の職員を招き、最新の教育事情などについて研修した。理科・社会科部会では、最後となる理科・社会科発表会を滞りなく進めることができた。また、研究紀要「北秋田の教育」については、紙面とデジタルブック両方を発行し、クラウドなどを活用して、カラーでも見られるようにしたほか、研究授業の記録を変更し、より授業改善に生かせる内容にした。 年2回のふるさとアンケートの実施、初任者研修でのふるさと教育の進め方の講話・演習、きらり☆きたあきたチャレンジ検定の実施と認定証の発行などを通して、ふるさと教育の一助を担った。																																																														
◆自己評価 授業研究会については、教職員アンケート「授業研究会における協議の視点についての話し合い(ワークショップ等)」において「十分満足」と「概ね満足」の割合が100%となり、有意義な研修の場になっている。 県学習状況調査における「地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う」割合について、県平均を下回っている学年もあるが「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の肯定的回答は79～95%の間にあり、概ね良好である。学校で行っている様々な取組や個人で参加する全市一斉クリーンアップなどの活動を通して、さらに意欲をもてるよう価値付けをしていく。																																																														
◆今後の方向性 ・各校での教職員の研修を支援できるよう、教育センターの各部会の研修内容を更に充実させる。また、学校数や児童生徒数の減少や教員の多忙化の解消に向けて、研修内容や実施方法等を工夫・改善していく。 ・「きらり☆きたあきた」の活用を推進するとともに、地域に根ざしたキャリア教育を推進する。地域でのボランティア活動や職場体験(教育委員会主催)、ふるさとサミット(教育委員会主催)などの機会を捉え、ふるさとを支えようとする自覚を育成する。																																																														
◆評価委員の意見 中学生では、総合的な学習の時間や休業中のボランティア活動、職場体験等が実施されている中、県平均との差が見られる。家庭や地域の理解と協力の下、中学生が充実感を味わえる方策を期待する。 少子化の影響で各校の教員数が減少しているため、教育センターが実施する教職員研修の役割は大きくなっていると考えられる。このような状況の中、有意義な研修が行われていることを評価したい。「きらり☆きたあきた」活用推進の取組についても、今後の成果を期待したい。																																																														

6	方針	心豊かでたくましい人間性を育む教育の充実					学校教育課
		目標 ① 次代を切り拓くための資質・能力の育成					
事業名	外国青年招致事業					決算額 26,919 千円	
◆事業の目的 小学校外国語活動の全ての授業にALTを配置することにより、学級担任が安心して授業を計画し、実践できるようにする。また、児童生徒のコミュニケーション能力の育成を図り、異なった文化に対する理解を深めることを目的とする。			◆事業概要 小・中学校の外国語・外国語活動の授業の充実を図るため、ALT及びALTコーディネーターを配置する。 ALT 6名、ALTコーディネーター 1名				
◆評価指標及び実績		アウトカム					
評価指標			R2	R3	R4	R5	R6
県学習状況調査平均通過率で県平均+3%以上		中1	+1.5%	-3.2%	-4.6%	+0.4%	-2.3%
		中2	-2.1%	-0.3%	+0.8%	+2.5%	-3.3%
県学習状況調査(児童生徒質問紙調査)における質問事項「外国語活動(英語)の勉強が好きだ」が県平均+3%以上		小4	-0.07	-3.4%	+6.5%	+1.6%	-1.4%
		小5	+1.6%	-5.7%	-1.7%	+3.1%	+4.0%
		小6	-6.8%	-1.2%	-3.3%	-1.7%	+7.0%
		中1	+6.7%	-13.8%	-10.6%	+7.3%	-11.7%
		中2	-3.9%	-6.3%	-5.9%	-0.1%	+3.5%
英検IBA3級以上合格レベルの割合が県平均を上回る		中3 県	48.3%	51.8%	38.6%	44.4%	37.0%
		中3 市	44.8%	44.6%	36.3%	46.2%	39.5%
		比較	-3.5%	-7.2%	-2.3%	+1.8%	+1.5%
◆令和6年度の実施状況 外国語活動・外国語指導の充実を図り、児童生徒のコミュニケーション能力の育成を目指すため、外国語指導助手(ALT)として6名を招聘し、小学校6校、中学校3校、義務教育学校1校に派遣した。 ALTの人数や学級数、また原則的に中学校区等の単位で同一のALTを担当させ、児童生徒の視点とALTの児童生徒理解の視点から、小・中等の連携を図った。 ALTコーディネーター派遣事業を実施し、ALTの資質向上に努めた。							
◆自己評価 県学習状況調査では、平均通過率では、中1、中2ともに県平均を下回り、評価指標は達成できなかった。児童生徒質問紙調査では、小5と小6、中2で評価指標が達成された。小4と中1は「好き」の割合が県平均を下回ったが、小4は78.3%、中1は59.2%が肯定的回答をしている。中1は経年比較で見ると、徐々に好きの割合が減ってきており、中1ギャップが心配される。英検IBAで3級以上合格レベルにあると判断された割合は県平均を上回った。本テストはリーディング分野(文法、熟語、語彙、読解)とリスニング分野があり、リスニング分野に注目すると中3の平均正答率が県67.0%、市68.4%と上回っている。授業だけでなく、日常的にALTとコミュニケーションを取り、ネイティブな言語に触れている成果であると言える。また、月1回発行されているALTだよりでは、諸外国の文化に触れたり、ALTの人柄について新たに知ることができるため、楽しみにしている児童生徒が多く、好評を得ている。							
◆今後の方向性 これまでどおり、コーディネーター訪問(1人のALTにつき年2～3回)での指導、助言を行ったり、市内の学校での研究授業への同行などALT同士がお互いの授業を参観する機会を設定したりするなどして、ALTの資質向上を図る。併せて、県等が開催するブロック会議や指導力向上研修等への参加を通じて、ALTの指導力向上を目指す。また、市内の学校内での児童生徒との関わりだけでなく、コムコムで開催されるイベントへの講師としての参加、伊勢堂岱遺跡ジュニアボランティアガイドの育成への協力、県主催のイングリッシュキャンプへの派遣等を行ってきているので、今後も幅広く市民、県民と触れ合うことを通して、本市の児童生徒への指導に生かす。 英検IBAでは、3級以上合格レベルが県平均を上回ったが、国の指標は令和10年度までに3級以上5割を目指している。今後もホームルームティーチャーとALTが連携し、学年の実態に合わせた指導とともに、リーディングとリスニングの統合的な指導の充実を図っていく。							
◆評価委員の意見 ALTコーディネーターが、派遣事業を実施したり、各種研修会や事業に同行したりして、ALTの資質向上に取り組まれている。ホームルームティーチャーとALTの連携による授業改善を期待する。 ALTが存分に語学力を発揮できるようコーディネーターを配置し、研修を充実させるなど、配慮されていて評価できる。児童生徒のコミュニケーション能力の向上については、課題を小・中学校で共有して、取り組んでもらいたい。							

7	方針	心豊かでたくましい人間性を育む教育の充実				学校教育課
		目標 ③ ふるさとを愛し、ふるさとを支えようとする子どもの育成				
事業名	総合学習補助事業				決算額 864 千円	
◆事業の目的 地域の暮らしや伝統・文化を学び、ふるさとのよさの発見、愛着心の醸成、ふるさとに生きる意欲の喚起を行い、ふるさとを支えようとする子どもを育成することを目的とする。			◆事業概要 各校で実施する「ふるさと教育」へ予算的支援をすることで創意工夫を促す。			
◆評価指標及び実績		例年実施				
		評価指標	R3	R4	R5	R6
		実施計画に対する執行率	86.4%	96.8%	99.5%	98.9%
◆令和6年度の実施状況 令和5年5月から、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、校外学習、地域の人々との交流、伝統行事の体験などを通じたふるさと教育・キャリア教育が行えるようになった。令和6年度は、各校で学習活動の拡大や新規の活動、地域の活性化に繋がる活動が行われ、ふるさとに生きる意欲の喚起につながった。主な事業として、地域の行事への参加、登山などの自然体験、施設見学、田んぼアート等を実施した。 ○小・中・義務教育学校全10校で実施 ○「大太鼓祭りへの参加」(綴子小)、「もちっこ祭りへの参加」(鷹巣小)、「合川まるとびへの参加」(合川中)など						
◆自己評価 従来の学習活動の見直しや、新たな活動の開始によって、活動に充実が図られ、実施計画に対する執行率が上昇した。地域行事への参加や地域をPRする活動などで地域活性化への貢献も行われており、事業の充実が図られている。						
◆今後の方向性 ふるさとを愛し、ふるさとを支えようとする子どもたちの育成の更なる創意工夫を促すため、各学校の実態に合わせ、実施計画の内容に応じた配分を続ける。						
◆評価委員の意見 児童生徒の目と心を地域に向けさせ、地域の協力を得ながら、各校の創意工夫を生かした事業を展開されていることは高く評価できる。今後も児童生徒がふるさとのよさを体感できる事業を期待する。 本事業が有効に活用され、各校の学習活動が、地域活性化にも貢献している点を評価したい。						

8	方針	心豊かでたくましい人間性を育む教育の充実					学校教育課
	目標	① 次代を切り拓くための資質・能力の育成					
事業名	小・中学校パソコン導入事業(GIGAスクール構想)						決算額 64,532 千円
◆事業の目的 情報化に順応できる人材の育成のため導入を進めてきたPC及び周辺機器について、文部科学省の第1期GIGAスクール構想に基づき、1人1台端末による個別最適化により資質・能力を一層確実に育成することを目指すもの。			◆事業概要 これまで3人に1台の想定で導入してきた学習者用タブレットを1人1台配置が完了した。また、教員の校務の円滑化を図るため導入してきたPC、プリンタ、サーバ等周辺機器について引き続き配置した。				
◆評価指標及び実績		ロードマップ					
			R2	R3	R4	R5	R6
		整備計画 (令和2年度～令和5年度)	高規格				
			1人1台タブレット配置				
			582台	403台	375台	331台	
		高規格化工事	実施済				
		新規導入台数	1,428台	-	-	-	405台
		配置替えによる対応台数	263台	-	-	-	-
◆令和6年度の実施状況 文部科学省のロードマップに沿って整備を計画していた第1期GIGAスクール構想により1人1台端末の整備が完了。令和6年度は1校のタブレット端末(405台)を更新した他、3校の校務用PC、プリンタ、サーバ等の周辺機器を更新した。また、タブレットによるICT学習の推進のため、プログラミング学習用教材ソフト、学習支援ソフト、フィルタリングソフトを継続使用できるよう整備した。							
◆自己評価 国で示すGIGAスクール構想に基づくIT環境について、タブレット端末を活用したICT学習は推進できている。令和9年度予定の秋田県統一校務支援システムへの参入に伴いデータマッチングの確認を進めている。セキュリティの強化や各種学習ソフトの活用でICT学習を継続的に使用することができた。							
◆今後の方向性 CBT(コンピュータ ベースド テスティングの略称、コンピュータを使用した試験方式のこと)対応のため、スペックの高いタブレット端末の整備が必要となる。今年度導入した端末と同型を更新校へ導入する方向で進めていきたい。(都市部と差異のない機器整備が必要と考える。) クラウド使用が高まると予想されるため、通信帯域の確保をアセスメント実施により帯域確認を再実施する。							
◆評価委員の意見 学習用タブレット端末1人1台配置完了後、各校の実態に応じてIT環境が整備されている。児童生徒のICT学習に対する意欲や活用技能の高まりからも、本事業を高く評価できる。 ロードマップに沿って確実に事業が進められている。1人1台端末の整備完了後は、必要な周辺機器の更新や環境整備が行われ、効果的なICT学習のための取組が推進されている。							

9	方針	心豊かでたくましい人間性を育む教育の充実					学校教育課
		目標 ① 次代を切り拓くための資質・能力の育成					
事業名	学校生活サポート員配置事業						決算額 77,375 千円
◆事業の目的 教育的支援を必要とする児童・生徒の学校生活支援及び学校支援を行う。				◆事業概要 ・各学校の教員と連携の上、必要な支援に取り組む。 ・「学校生活サポート員及び学校生活サポート員配置の学級担任合同研修会」の実施			
◆評価指標及び実績		例年実施					
評価指標		R2	R3	R4	R5	R6	
児童生徒数	小学校	1,075人	1,033人	992人	953人	880人	
	中学校	602人	564人	572人	558人	553人	
支援対象児童生徒数	小学校	105人	108人	134人	152人	149人	
	中学校	13人	14人	19人	28人	36人	
配置支援員数	小学校	26人	25人	26人	25人	26人	
	中学校	4人	4人	4人	5人	6人	
◆令和6年度の実施状況 特別な支援を必要とする児童生徒185人に対し、学校生活サポート員32名を配置して、学校生活全般にわたって対象児童生徒の支援を行った。また、支援員の研修を行い質の向上に努めた。 「学校生活サポート員及び学校生活サポート員配置の学級担任合同研修会」を8月22日に実施し、講話や協議を通じて連携の重要性を確認した。							
◆自己評価 支援員の配置により、対象児童生徒が充実した学校生活を送ることができたほか、周囲の児童生徒も落ち着いて学習に取り組むことができた。また、担任の負担が軽減されることで、学級経営や授業づくりが充実し、学校全体の教育効果を高めることができた。特別支援学級の人数が多くなり、教員の負担増の軽減を図る必要があること、外国籍の生徒が転入したことから、日本語支援の必要があることなど、新たな課題が出てきている。							
◆今後の方向性 対象児童生徒の増加、児童生徒の多様に対応するとともに、対象となる児童生徒の学校生活が充実し、教員への負担軽減による教育効果の向上を図るため、支援員の数を増やす必要がある。また、支援員に対しては対象児童生徒の行動への理解や支援の仕方などのスキルを高めるための研修を行っていく。							
◆評価委員の意見 対象児童生徒が充実した学校生活を送ることができるように、今後も学校生活サポート員の資質能力を高める研修の機会、校内支援体制の充実、ユニバーサル視点による授業改善等に努められたい。 各校の実態に応じて学校生活サポート員が配置されるよう、取り組まれている。教育効果をさらに高めるために、学校生活サポート員の実態やニーズに応じた研修の充実に今後も努めてもらいたい。							

10	方針	心豊かでたくましい人間性を育む教育の充実				学校教育課
		目標 ① 次代を切り拓くための資質・能力の育成				
事業名	不登校児童生徒対策事業					決算額 1,740 千円
◆事業の目的 不登校及び不登校傾向の児童・生徒と在籍校や関係機関と連携しながら、その保護者への総合的な支援も行い、学校復帰を目的とする。			◆事業概要 教育センター内に「北秋田さわやか教室」として、不登校児童生徒をサポートする適応指導教室を設置し、学校復帰に向けた支援や学習指導を行う。			
◆評価指標及び実績		例年実施				
		評価指標	R3	R4	R5	R6
		不登校または不登校傾向児童生徒数	35人	34人	35人	40人
		在籍者数	5人	3人	8人	7人
		うち学校復帰者数	3人	2人	6人	5人
◆令和6年度の実施状況 ①長期休業日を除く月・火・木・金曜日の午前9時から午後3時45分まで「北秋田市さわやか教室」を開設し、常駐する教員免許所有者1名を配置した。 ②在籍者7人のうち、1人が通信制高等学校へ進学し、5人が学校に登校できるようになった。 ③通級児童生徒への学習支援や学校との情報交換の他、保護者との面談も行った。 ④体験入級を実施し、2名が利用した。 ⑤Wi-Fiが利用できる環境が整備されたため、タブレット端末によるAIドリルの利用が可能になり、個別最適な学習ができるようになった。						
◆自己評価 入級した児童生徒のうち5名が学校へ登校できるようになった。全国的にも不登校(不登校傾向)の児童生徒は増加傾向にあるが、個々の実態に合わせ、丁寧な支援を行って登校・登室に結び付くよう対応している成果が現れている。また、登校支援ネットワーク連絡会議で、関係機関との連携を図っている。						
◆今後の方向性 不登校(不登校傾向)児童生徒の居場所となり、学校復帰に向けた取組ができる重要な場所として今後も継続する。また、生徒の実態に合わせて学校訪問による指導を行い、学校復帰に向けたきめ細やかな支援を行うとともに、引き続き登校支援ネットワーク連絡会議で、あきたリフレッシュ学園等の関係機関と連携を図っていく。						
◆評価委員の意見 Wi-Fi利用の環境整備により、個別最適な学習が可能になったことは評価できる。今後、あきたリフレッシュ学園との活動内容の連携を期待するとともに、諸会議等を通じた関係機関との連携強化も期待する。 きめ細かな支援により、学校復帰や進学につながったことを評価したい。今後も、関係機関との連携や学習環境の整備をすすめてもらいたい。						

11	方針	心豊かでたくましい人間性を育む教育の充実				学校教育課
		目標 ① 次代を切り拓くための資質・能力の育成				
事業名	小・中学校校務支援システム導入事業					決算額 7,133 千円
◆事業の目的 教員の校務負担の軽減と、教育の質的向上を図ることを目的とする。			◆事業概要 教員の校務負担の軽減を図るため校務支援システムを導入し、効果的な運用を行う。			
◆評価指標及び実績		アウトカム				
評価指標		実績		R4	R5	R6
アンケートにおいて、校務に係る作業時間が短くなり、校務以外の時間確保につながっていると答えた割合が9割を超える。また、1ヶ月の時間外在校時間45時間以上の割合が前年度より減少する。		校務支援システムの活用は、校務以外の時間(児童生徒と向き合う時間)の確保につながっている。 *R4、R5のアンケートは「時間が増えた」割合		79.9%	85.2%	100.0%
		1ヶ月の時間外在校等時間が年間平均45時間を超える教職員の割合		31.6%	40.7%	34.9%
◆令和6年度の実施状況 システムの運用を継続し、導入の効果の指標としてアンケートを実施している。今年度は、昨年度の「時間の経過と共に導入前の実感が薄れており、また新規教員については比較のしようがないため、来年度以降のアンケートについて項目を工夫する」という反省を生かし、アンケート内容を若干修正し、校務支援システムが安定して運用されているかどうかを確認した。また令和2年度より、働き方改革に繋げるため、教職員の出退勤時刻について可視化できるよう出退勤管理システムを追加導入し、勤務時間の把握に努めている。						
◆自己評価 校務支援システムは、出席簿や成績処理などの校務の負担軽減に確実につながっている。今後は校務支援システムのより有効な活用方法を研究していきたい。また、1ヶ月の時間外在校等時間が年間平均45時間を超える教職員の割合は、前年に比べ減少しており、校務支援システム運用の効果も大きいと捉えることができる。一方で、昨年度と同様に、教材研究等の校務以外に費やす時間の増加や、部活動指導に係る勤務時間増加は大きな課題である。部活動指導に係る教員の負担は大きく、この喫緊の課題を解決するためにも、引き続き出退勤管理による労働時間の可視化の他、部活動指導に係る部活動地域移行など教職員の負担軽減に資する取組と並行しながら、働き方改革の推進を図っていきたい。						
◆今後の方向性 引き続きシステムを運用し、教員の校務に係る負担を軽減して教育の質的向上につなげる。R9年度からは秋田県の統一された校務支援システムに移行予定である。 新システムに移行するにあたり、教育委員会の現使用PCはWin7でありスペックも低いいため、新システムが稼働可能なスペックとするWin11に更新する必要がある。						
◆評価委員の意見 児童生徒と向き合ったり、教材研究等に費やしたりする時間を確保できるように、本システムの有効な活用方法の具現化、各校の実態に応じた総合的な働き方改革の取組に期待する。 アンケート結果から、教員の校務負担軽減という本事業の目的が確実に達成されてきていることが分かる。今後の方向性も明確である。						

12	ふるさとに学び文化をはぐくみ笑顔あふれるひと・まちづくり・・・生涯学習・・・		生涯学習課				
	方針	目標 その他、特別な事業					
事業名	新成人事業		決算額 773 千円				
◆事業の目的 「二十歳の集い」への参加を通して、責任ある社会人としての自覚を促し、ふるさとを支える志の醸成につなげる。		◆事業概要 市内在住者及び市内中学校・大館国際情報学院中学校を卒業し、二十歳を迎えた人を対象に「二十歳の集い（式典・記念講演・写真撮影）」を実施する。 対象者で組織する実行委員会を設けて、「二十歳の集い」の自主的な運営を促している。					
◆評価指標及び実績		例年実施					
二十歳の集い(成人式)の参加率							
	実績	R2	R3 R2対象者 R3	R4	R5	R6	
	対象者数	289人	296人	303人	261人	222人	236人
	参加者数 (オンライン)	180人 -	51人 (41人)	107人 (40人)	161人 (12人)	145人 (8人)	173人 (5人)
	参加率	未実施	31.08%	48.51%	66.28%	68.91%	75.42%
※R2は未実施であったため参加者数には申込者数を記載 ※R3以降の参加率は、オンライン参加者も含む							
◆令和6年度の実施状況 二十歳を迎えた市内中学校出身者等を対象に「二十歳の集い実行委員会」を組織し、記念講演の講師や開催の方向性について協議した。 「二十歳の集い」を8月15日に開催し、対象者の家族等の入場を可とした。マスク着用は個人の判断としたが手指消毒の感染対策は行った。また、会場参加できない方のためにオンラインでの配信を行った。							
◆自己評価 対象者で組織する「二十歳の集い実行委員会」を設けて、対象者が主体的な運営を図ることで参加率を高めた。 記念講演では、「自分の人生は自分で描く」と題し、元北秋田市地域おこし協力隊で、現在は北秋田市阿仁を拠点に合同会社Anique(アニーク)代表／地域デザイナーとして活躍している、斎藤美奈子氏の講話により二十歳を迎えた方々にエールを送り、門出を祝福することができた。							
◆今後の方向性 郷土愛を育む取り組みの一つの行事として、今後も継続して実施していく。 また、自ら運営する「二十歳の集い」とするため、実行委員の役割分担を明確にし、式典内容の充実を図るとともに全体の参加率の増加を目指す。							
◆評価委員の意見 対象者で組織する実行委員会が、参加者目線で自主的な計画・運営に関わり、本事業の目的を達成していることは評価できる。対象参加者の家族等への入場を可としていることも評価できる。 対象者数の約4分の3という高い参加率を評価したい。二十歳を迎えて、自分とふるさとや家族との関わりを考えるよい機会となっていると思う。今後も、実行委員の意向や発想をサポートして、式典を充実させてもらいたい。							

13	方針	ふるさとに学び文化をはぐくみ笑顔あふれるひと・まちづくり・・・生涯学習・・・						生涯学習課	
		目標 ① 協働による持続可能な地域づくり							
事業名	日本語教室開催事業								決算額 423 千円
◆事業の目的 主に外国人配偶者や就労のため市内に在住する外国人を対象に、日本語の読み書きや日常会話習得、検定合格等を目的とする。				◆事業概要 講師1人、指導員2人により毎月3～4回日本語教室を開催し、日本語の習得と日本文化の理解につながるようサポートする。					
◆評価指標及び実績		例年実施							
日本語教室の開催回数及び受講者数									
		実績	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
		授業回数	35回	37回	32回	39回	43回	35回	
		受講者数 (延べ)	208人	258人	135人	150人	209人	123人	
◆令和6年度の実施状況 主に外国人配偶者や就労のため市内に住んでいる技能実習生、市内小中学校ALTを対象に、日本語の読み書きや日常会話習得、検定合格等を目標に教室を開催した。受講生との対話を重視し、一人一人のニーズに寄り添いながら支援を行った。									
◆自己評価 市内に在住している外国人が日常生活を送るために必要な日本語の習得のほか、資格取得のための学習にも活用されている。 今年度は家庭や仕事の影響で受講者数の減少がみられたが、地域の文化に触れながら日本語を学ぶ授業を行っており、授業で学んだ内容を実践するだけでなく、日本文化の理解促進を図ることができた。									
◆今後の方向性 引き続き、日本語の指導や教室でのコミュニケーションを通して、受講者の日本での生活サポートを行っていく。 今後、市内で就労する外国人の増加が見込まれるため、就労先と連携を図りながら講師と受講者とのつながりを保ち、魅力ある学習内容の実施に努める。									
◆評価委員の意見 受講者の実態及びニーズに基づき、複数の指導者による個に応じた学習が展開されている。今後も就労先と連携しながら、受講者の日本語の習得、日本文化の理解促進につながる学習内容を期待する。 外国人の増加は、本市でも予想される。そのため、日本語の習得だけでなく、安心して生活し、地域住民との円滑なコミュニケーションが図られるようになることが重要である。受講生のニーズの把握や就労先との連携を今後もきめ細かく行ってほしい。									

14	方針	ふるさとに学び文化をはぐくみ笑顔あふれるひと・まちづくり・・・生涯学習・・・					生涯学習課	
		目標 ① 協働による持続可能な地域づくり						
事業名	青少年育成事業							決算額 548 千円
◆事業の目的 青少年が誇りと責任についての自覚を高めるため、非行及び事故防止と社会環境の浄化を図る。青少年の健全育成を図るための地域組織の推進を図る。								◆事業概要 生涯学習課が事務局の青少年問題協議会や、その構成団体である「青少年育成北秋田市民会議」及び「少年保護育成委員会」が、非行防止活動や青少年の見守り活動を実施し、健全な成長の支援活動を行う。
◆評価指標及び実績								
例年実施								
青少年育成事業の実施内容								
		R2	R3	R4	R5	R6		
小中高等学校あいさつ運動（実施回数）主催：市民会議		7回	11回	11回	11回	10回		
伝承芸能合同発表会（実施有無）主催：市民会議		×	×	○	○	○		
研修会の実施（実施有無）主催：問題協議会		×	○	○	○	○		
◆令和6年度の実施状況 青少年育成市民会議等が、市内小中高等学校でのあいさつ運動（5月～10月：計10回）及び街頭啓発活動を行った。9月4日に鷹巣中学校でわたしの主張2024県北地区予選大会が開催され、鷹巣中学校の生徒が全国大会に出場した。子どもたちの伝承芸能合同発表会を11月16日に開催し、4団体が出演し、郷土に対する誇りを持つことができた。 また、6月25日に青少年問題協議会を開催し、関係団体や行政機関が活動報告や問題意識の共有を行った。研修会では講師に園田順夫氏を迎え、「瞳が輝くとき～夢を持って生きる」を演題として講演を行った。								
◆自己評価 関係団体や行政機関が、青少年を取り巻く環境について問題意識の共有を図ることができた。また、各小中高等学校でのあいさつ運動、街頭啓発活動を行い、青少年の健全育成を図るための地域組織活動の推進につなげることができた。								
◆今後の方向性 引き続き、地域の大人が青少年を育成するための課題や情報を共有する場を提供する。 また、青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策を講ずるための調査審議を行い、必要な関係行政機関相互の連絡調整を図る。								
◆評価委員の意見 現在の青少年を取り巻く環境及び実態から、青少年の健全育成に向けた課題を的確に捉え、必要な関係機関と連携し、多くの地域住民が関わることができる、持続可能な地域組織の推進を図られたい。 青少年の健全育成のために、関係団体の方々の知見が生かされる活動が行われている。今後も、地域全体で青少年を育成するために、関係機関が相互に連携して活動が推進されることを期待したい。								

15	ふるさとに学び文化をはぐくみ笑顔あふれるひと・まちづくり・・・生涯学習・・・		生涯学習課				
	方針	目標 ① 協働による持続可能な地域づくり					
事業名	花いっぱい運動推進事業		決算額 324 千円				
◆事業の目的 花の美しさは、明るい社会を築くうえで大きな役割を果たすため、花だんづくりを通した美しいまちづくりと地域づくりを目指す。		◆事業概要 北秋田市花いっぱい運動推進協議会が主催する「北秋田市花だんコンクール」を支援する。市の花あじさいの植栽普及など地域ぐるみで環境美化運動の推進を行う。					
◆評価指標及び実績		例年実施					
花だんコンクール参加者数							
		R1	R2	R3	R4	R5	R6
		12団体 3個人	16団体 1個人	14団体 2個人	14団体 3個人	14団体 3個人	13団体 3個人
◆令和6年度の実施状況 「めざせ！花と笑顔いっぱいの北秋田市」をスローガンに、北秋田市花いっぱい運動推進協議会主催の市花だんコンクールを支援し、開催することができた。コンクールには13団体3個人から応募があり表彰式を行った。 また、花いっぱい運動推進協議会では、花の苗の育成と花種の頒布、6月には市の花あじさいの植栽事業（合川駅前）を実施した。 県の花だんコンクールにおいては、北秋田市より5団体・個人が申し込み、比内支援学校たかのす校が特別優秀賞（秋田県教育長賞）を受賞し、令和5年度に引き続き鷹巣小学校がモデル花だん指定を受けた。また、本市協議会の長年にわたる花いっぱい運動による地域づくりなどの活動が認められ、感謝状が授与された。							
◆自己評価 市花だんコンクールの開催や花育活動を通して、美しいまちづくりと地域づくりへの啓蒙活動を推進と、市の花あじさい植栽普及などの環境美化運動を推進することができた。 また、県の花だんコンクール表彰式において、本市協議会の長年にわたる花いっぱい運動による地域づくりなどの活動が評価された。							
◆今後の方向性 引き続き、花だんコンクール及び地域と小・中学校が連携した植栽活動を通して、花を育てることで心が潤い地域が元気になる取り組みや環境美化の意識共有を図る。							
◆評価委員の意見 地域と小・中学校が連携した植栽活動は、児童生徒の自然愛護や郷土愛、地域住民の心の潤いや生きがいにもつながる。コムコム内のコンクール応募者写真掲示等は、効果的であり今後も継続されたい。 本事業は、参加団体・参加者は決して多くないが、その波及効果は大きいと言える。今後も、広報活動を工夫して、環境美化の効果的な活動が推進されることを期待する。							

16	ふるさとに学び文化をはぐくみ笑顔あふれるひと・まちづくり・・・生涯学習・・・					生涯学習課	
	方針	目標 ③ 子どもたちをはぐくむ学校・家庭・地域社会の連携					
事業名	地域学校協働本部事業					決算額 379 千円	
◆事業の目的 地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して様々な活動を行い、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を育む。			◆事業概要 より多く、より幅広い層の地域住民、団体等が参画し、目標を共有し、「緩やかなネットワーク」を形成する。「地域学校協働活動推進員ネットワーク会議」の実施(7月・11月・2月)。				
◆評価指標及び実績			アウトプット				
評価指標 地域学校協働活動推進員数(統括含む) 24人 (過去3年間の平均)			R2	R3	R4	R5	R6
			29人	28人	25人	19人	17人
			アウトカム				
地域学校協働活動に参加したボランティアと子どもの満足度 90%			R2	R3	R4	R5	R6
			—	100%	100%	90.5%	85.0%
◆令和6年度の実施状況 市内全校に学校運営協議会が導入されており、各校の学校運営協議会において地域学校協働活動推進員の委嘱を行った。 研修会を鹿角市と合同で行い、パネルディスカッションでは北秋田市の事例紹介を行った。 北秋田市教育委員会と東京都健康長寿医療センターが連携して実施しているSOSの出し方授業は4校(鷹巣中学校、鷹巣小学校、綴子小学校、米内沢小学校)で実施した。							
◆自己評価 市内全校に学校運営協議会が導入され、地域と学校の連携、地域ぐるみの人材育成の取組の基盤ができおり、研修会では、他地域の事例から協働活動の意義や地域と学校それぞれに期待される役割などについて考えることができた。							
◆今後の方向性 引き続き、各校との連絡調整や地域学校協働活動推進員の情報交換や研修会等を実施し、課題の共有や解決に向けた取り組みを実施する。							
◆評価委員の意見 各校の実態に応じた地域学校協働活動の推進は、地域全体で子どもを育てる環境づくりにつながる。推進員が活躍できる取組の一つとして、学校運営協議会と地域学校協働本部の一体的推進を期待する。 研修会を鹿角市と合同で実施したことは、本市の活動の成果と課題を確認するために有効であると思う。満足度が以前よりも低下し、目標を達成できなかったことについては、その要因を考察して次年度に生かしてもらいたい。							

17	ふるさとに学び文化をはぐくみ笑顔あふれるひと・まちづくり・・・生涯学習・・・		生涯学習課				
	方針	目標 ② 共に学びあえる生涯学習の推進					
事業名	北秋田市民ふれあいプラザ管理事業		決算額 50,389 千円				
◆事業の目的 「憩い・交流・にぎわい」をコンセプトに中心市街地の拠点施設として、市民の自由な交流・活動の場であり、市民ふれあいプラザを拠点として学習活動を行う市民を増やし、交流人口の増につなげる。		◆事業概要 中心市街地の拠点施設として、市民のニーズを取り入れながら、多くの人に利用される施設となるよう適切な管理運営を行う。					
◆評価指標及び実績		アウトプット					
評価指標		市民ふれあいプラザ利用者					
ふれあいプラザ利用者(単年) 64,400人	実績	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	来館者数	286,859人	216,829人	224,321人	225,171人	249,220人	255,891人
	利用者数(単年)	60,937人	40,227人	48,140人	55,234人	61,369人	71,177人
	利用件数	4,625件	4,121件	4,410件	4,582件	4,985件	5,555件
◆令和6年度の実施状況 生涯学習活動の場としてのみならず、中心市街地の拠点施設として様々な年代の方や団体に利用されており、来館者は255,891人で前年比102.7%、利用者は71,177人で前年比116.0%と回復してきている。							
◆自己評価 各種サークル団体への活動支援(使用料減免等)を図るとともに、チャレンジブースやねまー広場の周知及び環境を整え、利用しやすい施設となるよう努めた。 不具合のあったペレットボイラー2号機の改修工事を実施し、正常に稼働できるようになった。 令和6年3月で空き店舗となっていたカフェのテナントが決まり、令和6年9月22日にプレオープンし、12月7日から営業を開始した。							
◆今後の方向性 引き続き、中心市街地の活性化を図る拠点施設として、市民が集い交流できる場としての管理運営を心がける。 また、災害避難場所としての役割も担っていく。							
◆評価委員の意見 利用者数や利用件数の増加は、多くの市民に利用されている表れであり高く評価できる。今後も中心市街地の活性化を図る拠点施設、各年代層の市民が集い交流できる場としての管理運営を期待する。 来館者数も利用者数も増加し、多くの市民に利用され、親しまれていることが分かる。中心市街地の活性化が課題となる中で、この施設が果たしている役割は大きく、取組を評価したい。							

18	ふるさとに学び文化をはぐくみ笑顔あふれるひと・まちづくり・・・生涯学習・・・		生涯学習課				
	方針	目標	② 共に学びあえる生涯学習の推進				
事業名	高齢者教育事業		決算額 503 千円				
◆事業の目的 高齢者の学びの機会を充実させ、生きがいがづくりや仲間づくりを目的とする。		◆事業概要 市内4地区(鷹巣、合川、森吉、阿仁)において、高齢者大学入学式・卒業式、全体講座(年5回程度)、社会見学等を行っている。鷹巣地区では、月1回程度のクラブ活動も実施している。					
◆評価指標及び実績		アウトプット					
地区別受講者数							
地区別受講者数(単年) 鷹巣160人以上 合川76人以上 森吉65人以上 阿仁44人以上 (過去3年間の平均)		実績	R2	R3	R4	R5	R6
		鷹巣地区	182人	175人	158人	149人	139人
		合川地区	77人	77人	75人	69人	71人
		森吉地区	60人	70人	61人	66人	64人
		阿仁地区	50人	49人	45人	40人	41人
		合計	369人	371人	339人	324人	315人
受講者の満足度調査 90%		アウトカム					
			R2	R3	R4	R5	R6
		満足度	—	69%	86%	76%	79%
◆令和6年度の実施状況 受講者数は微増減しているものの各地区で活発に事業を実施し、4地区の受講者が一堂に集まる合同講座は「一般公開」として広く市民に周知した。 また、4地区で移動研修を実施したほか、鷹巣地区の学園祭では、演説発表やクラブの活動紹介をし、日頃の成果を発表する場を創出したことで受講者の意欲の高揚に繋がった。 合川地区では、受講生が小学生や中学生と一緒に学習会を行ったり、花だんの花植えや草取りを中学生と協働で実施しており、中学校の卒業式に参列するなど世代間交流が図られている。							
◆自己評価 評価指標は達成することが出来なかったが、継続して受講する人が多く、受講者の生きがいがづくりや交流の場を確保し、前向きに学習する機会を提供することができた。							
◆今後の方向性 引き続き、高齢者の生きがいがづくりはもちろん、受講者個々の自主的な学習意欲を高める学びの機会を提供する。また、受講者の意見を反映しながら、より多くの受講者が参加できるよう魅力ある講座を企画・実施していく。							
◆評価委員の意見 4地区合同講座や地区別移動研修、地区ごとの特色を生かした講座内容の工夫等、受講生の意見を反映させながら、より多くの市民に学びの機会を提供していることは評価できる。 高齢者の学びや交流の場となっているだけでなく、世代間交流の場にもなっていることを評価したい。満足度調査については、目標値を達成できるよう、細かな分析を期待したい。							

19	ふるさとに学び文化をはぐくみ笑顔あふれるひと・まちづくり・・・生涯学習・・・		生涯学習課				
	方針	目標	② 共に学びあえる生涯学習の推進				
事業名	公民館講座開設事業					決算額 2,435 千円	
◆事業の目的 心の豊かさや生活の向上のために学習機会の提供を行い、その学習を通して地域活動への参加を促進することを目的とする。			◆事業概要 定期講座・短期講座・公開講座を各公民館及び北秋田市民ふれあいプラザにおいて、生涯学習の推進のため開催する。				
◆評価指標及び実績							
評価指標		アウトプット					
		定期講座・短期講座・公開講座					
			R2	R3	R4	R5	R6
		講座開催数	355回	330回	322回	349回	351回
		延べ受講者数	4,253人	3,622人	3,600人	4,049人	3,888人
自主講座への移行数 23講座(過去5年間の累計)		自主講座移行数	35	23	23	24	23
		自主講座講師人数	164人	182人	199人	192人	171人
		アウトカム					
			R2	R3	R4	R5	R6
自発的に学習する市民の割合 60.0%		自発的に学習する市民の割合	58.7%	63.5%	63.5%	60.1%	60.2%
◆令和6年度の実施状況 各公民館及び市民ふれあいプラザにおいて各種講座を開催し、学びの場を提供した。 また、生涯学習フェスタや文化祭で学習の成果を発表(展示)した。 《定期講座数・延べ受講者数》 鷹巣【定期】16講座(1,772人)【短期】8講座(157人) 合川【定期】8講座(520人)【短期】23講座(321人) 森吉【定期】6講座(493人)【短期】2講座(61人) 阿仁【定期】7講座(304人)【短期】4講座(113人) 計74講座(3,741人)							
◆自己評価 学びの場を提供するため、定期講座及び様々な短期講座を企画し市民ニーズの把握に努めた。 また、講座を通して新たな趣味の発見や仲間づくりにつなげることができたほか、森吉公民館の「あかり作り講座」では、地元小学校との竹あかりの協働製作や制作物展示による地域行事および交流のあった他地域の行事への参加など、世代間交流や地域間交流につなげることができた。							
◆今後の方向性 受講修了後のアンケート実施や短期講座の開催などを通し、市民の学びのニーズを把握する。 また、地域課題に対し関心を持ってもらい、主体的に講座に参加してもらえるよう講座運営に努めるほか、SNS等を活用した情報発信により、幅広い年代への周知を図る。							
◆評価委員の意見 市民の学びのニーズに応じた各種講座を通して、新たな趣味の発見や仲間づくり、学んだことを世代間交流や地域間交流へつなげたり、学習成果の発表の場を提供したりしていることは評価できる。 講座が多くの市民に利用され、多様な学習の機会が提供されている。好評であった講座は、他の公民館でも開催するなど、地域住民の利便性を考慮した取組も評価できる。							

20	方針	ふるさとに学び文化をはぐくみ笑顔あふれるひと・まちづくり・・・生涯学習・・・					生涯学習課	
		目標 ② 共に学びあえる生涯学習の推進						
事業名	公民館管理事業							決算額 115,093 千円
◆事業の目的 地域の拠点として、多くの市民に親しまれる公民館を目指し、学び・発表の場や地域活動の場を提供する。								◆事業概要 適切な維持管理により、施設利用者の安全・安心に努める。また、施設の使用許可申請や使用料減免制度等を整備し、利用者の利便性向上を図る。
◆評価指標及び実績								
例年実施								
年間施設利用者数								
	実績	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
	鷹巣地区	34,095人	23,844人	27,551人	26,484人	27,586人	26,661人	
	合川地区	21,146人	4,404人	4,154人	16,925人	16,829人	18,557人	
	森吉地区	17,279人	12,508人	15,316人	15,309人	18,940人	16,622人	
	阿仁地区	11,819人	6,548人	7,947人	9,612人	10,673人	9,454人	
		84,339人	47,304人	54,968人	68,330人	74,028人	71,294人	
*利用者数は対前年比2,734人の減(96.3%)であった。								
◆令和6年度の実施状況 鷹巣地区公民館6館及び3地区の公民館について、定期的に施設内外の点検を行い計画的に修繕等を実施し、利用しやすい施設整備に努めた。								
◆自己評価 計画的に施設の維持管理を行ったことで、講座やサークル活動、地域活動等で市民が安心して利用することができた。 鷹巣地区公民館(栄、沢口、七日市、七座、坊沢、綴子)と前田公民館にインターネットおよびWi-Fi環境の整備、坊沢公民館(ホール、中会議室、和室)にエアコンを整備し、利用者の利便性を図ることができたほか、沢口、七日市、七座、綴子公民館の各事務室にエアコンを整備した。 また、森吉公民館等(森吉図書館含む)について、利用者アンケートを実施後に意見交換会を開催し、地域住民の意向を把握することができた。								
◆今後の方向性 各公民館施設が、学びの場、地域活動の場、災害時の避難場所としても必要不可欠な地域の拠点施設として、維持管理を継続し長寿化を図っていく。 また、森吉コミュニティセンター改築事業に取り組んでいく。								
◆評価委員の意見 生きがい・地域づくりの拠点施設として、関係機関や諸団体との連携の下、多様な施設利用を図ったり、Wi-Fi環境整備、エアコン設置、使用料減免措置等の利用者の利便性向上を図ったりしていることは評価できる。 利用者の利便性向上のための施策が確実に推進されており、利用者数も維持されている。災害時の避難場所としての役目は、今後さらに重要性が増すと思われるので、その点でも充実に努めてもらいたい。								

21	ふるさとに学び文化をはぐくみ笑顔あふれるひと・まちづくり・・・生涯学習・・・					生涯学習課																												
	方針	目標 ① 協働による持続可能な地域づくり																																
事業名	図書館事業					決算額 21,962 千円																												
◆事業の目的 市民の学習の場の提供のため、図書の充実と施設の維持管理とを図る。また、読書活動の推進に努め、図書館・公民館図書室のネットワークサービスの充実を図る。			◆事業概要 ・市内2図書館（鷹巣・森吉図書館）、2図書室（合川・阿仁公民館図書室）の図書購入、貸出・管理 ・北秋田市図書館協議会の開催 ・北秋田市子ども読書活動推進事業の推進 ・きたあきた読書まつりの開催 ・市内保育園・認定こども園児の図書館体験デーの実施																															
◆評価指標及び実績																																		
貸出冊数 評価指数(目標値) 41,102冊以上 (個人と団体を合わせた貸出冊数で、過去3年間の平均)		<table><tr><th colspan="2">アウトプット</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr><tr><th colspan="2">実 績</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr><tr><td colspan="2">貸出冊数(個人) ※2館、2室分</td><td>40,594冊</td><td>40,534冊</td><td>38,455冊</td><td>38,358冊</td><td>37,598冊</td></tr><tr><td colspan="2">貸出冊数(団体) ※2館、2室分</td><td>1,473冊</td><td>1,022冊</td><td>835冊</td><td>4,103冊</td><td>4,077冊</td></tr></table>					アウトプット							実 績		R2	R3	R4	R5	R6	貸出冊数(個人) ※2館、2室分		40,594冊	40,534冊	38,455冊	38,358冊	37,598冊	貸出冊数(団体) ※2館、2室分		1,473冊	1,022冊	835冊	4,103冊	4,077冊
アウトプット																																		
実 績		R2	R3	R4	R5	R6																												
貸出冊数(個人) ※2館、2室分		40,594冊	40,534冊	38,455冊	38,358冊	37,598冊																												
貸出冊数(団体) ※2館、2室分		1,473冊	1,022冊	835冊	4,103冊	4,077冊																												
利用者数 評価指数(目標値) 貸出人数14,683人以上 来館者数 32,756人以上 (過去3年間の平均)		<table><tr><th colspan="2">アウトプット</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr><tr><th colspan="2">実 績</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr><tr><td colspan="2">貸出人数 ※2館、2室分</td><td>14,745人</td><td>14,964人</td><td>14,390人</td><td>14,697人</td><td>14,446人</td></tr><tr><td colspan="2">来館者数 ※2館のみ</td><td>34,497人</td><td>33,573人</td><td>31,587人</td><td>33,109人</td><td>31,753人</td></tr></table>					アウトプット							実 績		R2	R3	R4	R5	R6	貸出人数 ※2館、2室分		14,745人	14,964人	14,390人	14,697人	14,446人	来館者数 ※2館のみ		34,497人	33,573人	31,587人	33,109人	31,753人
アウトプット																																		
実 績		R2	R3	R4	R5	R6																												
貸出人数 ※2館、2室分		14,745人	14,964人	14,390人	14,697人	14,446人																												
来館者数 ※2館のみ		34,497人	33,573人	31,587人	33,109人	31,753人																												
きたあきた読書まつり、読書感想文・読書感想画コンクール		<table><tr><th colspan="2">例年実施</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr><tr><th colspan="2"></th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr><tr><td colspan="2">読書まつり来館者数 ※2館、2室分</td><td>2,118人</td><td>3,496人</td><td>3,416人</td><td>1,907人</td><td>3,748人</td></tr><tr><td colspan="2">コンクール応募者数</td><td>517人</td><td>523人</td><td>426人</td><td>447人</td><td>405人</td></tr></table>					例年実施									R2	R3	R4	R5	R6	読書まつり来館者数 ※2館、2室分		2,118人	3,496人	3,416人	1,907人	3,748人	コンクール応募者数		517人	523人	426人	447人	405人
例年実施																																		
		R2	R3	R4	R5	R6																												
読書まつり来館者数 ※2館、2室分		2,118人	3,496人	3,416人	1,907人	3,748人																												
コンクール応募者数		517人	523人	426人	447人	405人																												
※きたあきた読書まつりは、R2年度より2館、2室で本格開催（R1は試験的实施）																																		
◆令和6年度の実施状況 市読書感想文・感想画コンクールや市内認定こども園・保育園10園の園児を対象にした「図書館体験デー」を実施した。また、読書週間に合わせて、10月24日から12月1日まで「きたあきた読書まつり」を開催し、市読書感想文・感想画コンクールの表彰式や読み聞かせおはなし会スペシャル及び貸出冊数の増と貸出期限の延長、特別展示、自前の本へのブックコートサービス、選書体験、小イベントの実施、本と雑誌の無償配布を行ったほか、「市制20周年記念木製しおりプレゼント」を実施した。																																		
◆自己評価 貸出人数、来館者数、コンクール応募者数は減少傾向となっており評価指標を達成することが出来なかったが、貸出冊数は移動文庫および保育園の団体貸出利用増により、評価指数を超えることができた。 また、「きたあきた読書まつり」について、例年実施の「雑誌リサイクル」を「本と雑誌のリサイクルフェア」に改め、除籍図書の利活用を開始し、全ての雑誌と9割以上の図書が配布となり、「市制20周年記念木製しおりプレゼント」等のイベントも好評で、結果として来館者数が増え図書館の利用促進に繋がった。																																		
◆今後の方向性 評価指数に達しなかった項目について、SNS等を活用した情報発信により図書館PRを進めるほか、学校や保育園等、その他施設と連携することで広い世代の図書館利用を促進する。 また、図書館サービスについて、利用者アンケートや他館の事業を参考に、オンライン予約等のサービス提供を行っていく。																																		
◆評価委員の意見 きたあきた読書まつりの内容をリニューアルしたことで、来館者数の増加につながったことは高く評価できる。アウトリーチ型の移動図書による、保育園や小・中学校、各施設での図書利用を期待する。 目標値をわずかに下回ったものがあったものの、貸出冊数は目標値を超えており、人口減少という現状の中では、市民に良く利用されていると言える。利用者の要望等を的確に捉えて事業内容に生かそうとする姿勢も評価できる。																																		

22	ふるさとに学び文化をはぐくみ笑顔あふれるひと・まちづくり・・・生涯学習・・・					生涯学習課	
	方針	目標 ③ 子どもたちをはぐくむ学校・家庭・地域社会の連携					
事業名	放課後子ども教室推進事業					決算額 1,578 千円	
◆事業の目的 放課後や週末等において、子どもたちの安全・安心な活動場所を確保し、地域と学校が連携・協働して学習や様々な体験・交流活動の機会を定期的・継続的に提供する。			◆事業概要 放課後子ども教室を開催し、放課後に勉強やスポーツ、文化活動、交流活動などを行い、子どもたちの学校教育以外の様々な体験・交流活動の機会を作る。				
◆評価指標及び実績		アウトプット					
放課後子ども教室の開催回数と参加人数及び指導者数							
開催回数 85回 参加人数 2,280人 (過去3年間の平均)		実績	R2	R3	R4	R5	R6
		開催回数	89回	84回	90回	81回	72回
		参加人数	2,289人	2,339人	2,344人	2,157人	1,987人
		指導者数	24人	22人	20人	20人	20人
◆令和6年度の実施状況 地域住民の参画を得ながら、放課後子ども教室6教室を開催した。 また、開催回数が減少する教室もあったが、各地区の指導員と日頃からの打合せを密にして教室のフォローを行い、児童に飽きさせないよう体験学習の企画に努めた。							
◆自己評価 放課後子ども教室事業を継続し、事故なく子どもたちが安全・安心して過ごせる居場所づくりができた。 また、市民ふれあいプラザを会場に、プログラミング教室を開催し、多様な体験に繋げることができた。							
◆今後の方向性 子どもたちに地域の自然や文化に係る体験を通して地域の魅力を伝えていく取り組みを実施するため、地域の中で指導員やボランティアを継続的に担ってくれるような人材の確保と支援に努め、活動回数の維持を図る。 また、今後、開催回数と参加者の減少が予想されるため、各地区の状況に合わせて臨機応変に教室の継続実施を目指す。							
◆評価委員の意見 各地区の指導員と連携しながら、児童にとって魅力ある教室開催に取り組んでいる。各公民館の自主サークル団体等の理解や協力を得て、各地区の状況に応じた様々な体験・交流活動の実施を期待する。 参加人数は目標値を下回ったものの、1回あたりの参加人数は過去3年間とほぼ同じ水準で、本事業へのニーズが高いことがわかる。そのため、本事業を担う人材の確保は重要である。関係機関とも連携を図りながら、人材の確保と支援に努めてもらいたい。							

23	方針	ふるさとに学び文化をはぐくみ笑顔あふれるひと・まちづくり・・・生涯学習・・・					生涯学習課
		目標 ③ 子どもたちをはぐくむ学校・家庭・地域社会の連携					
事業名	家庭教育支援推進事業						決算額 550 千円
◆事業の目的 健やかな子どもの育成を目指し、全ての親が安心して家庭教育を行うことができるよう、地域の多様な人材で構成する「家庭教育支援チーム」を設置し、親の学びや育ちを応援するとともに、家庭と地域・学校をつなげ、地域全体で家庭教育を支援していく。				◆事業概要 ・家庭教育講座 乳幼児から小・中学校の子どもを持つ保護者を対象に、家庭教育に関する講座を開催する。 ・家庭教育支援チーム にこっと 8名の支援員から構成され、市のイベント等で、親子のふれあいサロン、家庭教育相談窓口開設、手作りおもちゃブースの対応等を行っている。			
◆評価指標及び実績		例年実施					
家庭教育講座数とチーム員数							
		実績	R2	R3	R4	R5	R6
		家庭教育講座	2件	2件	3件	3件	2件
		サロン実施数	0回	2回	3回	4回	4回
		チーム員数	8人	8人	8人	8人	8人
◆令和6年度の実施状況							
○家庭教育講座 6月29日（七日市保育園）「親子でサッカーを楽しもう」～元気いっぱい体を動かそう～ 11月9日（認定こども園しやろーむ）「乳児・幼児教育の防災」～赤ちゃん和妈妈を守る～							
○家庭教育支援チーム 活動の準備作業や話し合いのためにチーム会議を行った。 6月9日、16日、23日に北欧の杜公園を会場に親子あそびサロンを開催し、市内外の親子に楽しんでもらう時間を提供することで親子のふれあいの時間を創出した。 また、12月8日の「生涯学習フェスタ2024」において、「楽つみ木」でまちをつくろう！の企画や親子のための読み聞かせと子育て相談コーナーのサロンを設置し、訪れた親子が気軽に利用した。							
◆自己評価 定期的にチーム会議を開催し、活動の準備作業や話し合いに参加し、チーム員の活動を支援するとともに、家庭教育支援には親子のふれあいが重要というチーム員の考えのもと、親子のコミュニケーションの機会を積極的に作ることができた。 また、大館人権擁護委員協議会北秋田部会主催の合川小学校人権擁護教室で、講師として朗読劇を行い、子どもと一緒にいじめや人権について話し合うなどした。							
◆今後の方向性 家庭教育支援チームは、チーム独自の活動を行いたいと考えており、保育園等や小学校と連携し、親子とつながる機会を設け、より多くの親子にチームの存在を知っていただき、対話を通して親子に寄り添うことで、積極的に親子のつながりと家庭教育の大切さを伝える活動を支援していく。							
◆評価委員の意見 気軽に親子が参加できる家庭教育支援チームの活動は、多くの親子がふれあう機会を創出しており評価できる。市全体の家庭教育支援体制の充実に向けて、各種支援団体の周知や連携にも努められたい。 相談の場を親子遊びサロンなどに設けているのは、子育てに悩んでいる親にとっては、気軽に相談でき、有効な方法であると思う。支援員のキャリアを生かした活動を今後も期待したい。							

24	方針	ふるさとに学び文化をはぐくみ笑顔あふれるひと・まちづくり・・・文化・・・					生涯学習課
		目標 ④ 文化財保存・継承の推進					
事業名	文化財保護事業					決算額 7,152 千円	
◆事業の目的 文化財の適正な保護及び継承する。			◆事業概要 文化財保護審議会の開催、個人所有文化財の所在調査、市所有文化財の管理。				
◆評価指標及び実績		例年実施					
確認した指定文化財数		※実績数／全体数					
実 績	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
件 数	22件／96件	43件／97件	12件／94件	42件／95件	24件／95件	18件／95件	
◆令和6年度の実施状況 北秋田市文化財保護審議会を2回開催し、次年度の事業計画等を確認した。 また、文化財を保存、継承していくため、散逸等がないよう地道な所在確認作業と文化財収蔵庫の整理作業を実施した。							
◆自己評価 第1回審議会では、5年度の事業報告と6年度の事業事業計画を承認し、第2回審議会では6年度の事業報告、指定文化財の所在確認作業及び文化財収蔵庫の整理作業についての報告を行った。 また、所在確認作業については、職員数の減少により、確認件数が18件にとどまった。							
◆今後の方向性 指定文化財の所在確認を継続し、適正な保護、管理に努め、地域の宝として次の世代に継承する。 また、未登録文化財の調査の継続し、地域文化財として適正な保存に努め、将来の指定に向けた備える。 引き続き、文化財収蔵庫の整理及び民具等の目録作成を進めながら、収蔵品の一部を展示する機会を設け、市民に公開する。							
◆評価委員の意見 次世代に地域の宝として残すためには、所在確認作業や文化財収蔵庫の整理作業に係るマンパワーが必要と考えられる。関係機関との連携による、迅速な文化財の保護及び管理に努められたい。 指定文化財の適正な保護・管理が継続されている。今後の方向性も具体的である。地域への愛着を深めるためにも、展示や公開など、市民への広報活動の充実を期待したい。							

25	方針	ふるさとに学び文化をはぐくみ笑顔あふれるひと・まちづくり・・・文化・・・					生涯学習課
		目標 ④ 文化財保存・継承の推進					
事業名	民俗芸能大会事業						決算額 588 千円
◆事業の目的 市内の民俗芸能等を広く市民に公開するとともに伝承者の意欲及び技術の向上を図る。 また、民俗芸能等の現状を調査し、継承に努める。				◆事業概要 市民俗芸能大会の開催及び民俗芸能団体との意見交換会の開催。			
◆評価指標及び実績							
北秋田市民俗芸能大会		アウトプット					
評価指数(目標値) 交流人数333人 (過去3年間の平均)以上		実 績	R2	R3	R4	R5	R6
		参加団体数	未実施	5団体	4団体	4団体	5団体
		交流人数	-	100人	200人	400人	400人
民俗芸能団体との意見交換		例年実施					
		実 績	R2	R3	R4	R5	R6
		開催回数	2回	-	1回	1回	1回
◆令和6年度の実施状況 第18回北秋田市民族芸能大会では、市外から1団体と市内から綴子大太鼓上町保存会、上杉伝統芸能保存会、根子番楽保存会、比立内比靖会の4団体、が出演し、それぞれの地域内で受け継がれてきた芸能を勇壮に披露した。 また、民族芸能団体との意見交換会では、各団体の現状や今後の活動について意見を集約した。							
◆自己評価 市外から出演した由利本荘市の木内勇吉一座は秋田県指定無形民俗文化財の猿倉人形芝居を披露した。合川地区でも猿倉人形芝居が継承されているが、現在は休止している。久しぶりの人形芝居に会場した市民からは、人形の口上や軽やかな動きに当時を懐かしみ涙を流す方も見られた。 また、市内の4団体が一堂に会し、地域の宝である伝統の踊りや舞を勇壮に披露した。							
◆今後の方向性 意見交換会において、各団体から共通して聞かれるのは、少子高齢化の問題「大人が高齢となり、体調不良などで参加できなくなることがあるが、その踊りや舞、歌やお囃子の技術をコツなどを教えることができる方が参加できなくなる。一方で子どもは勉強やスポーツ活動に加えて塾通いなど、大人よりも忙しい毎日を過ごしている」、「活動の内容が地域の宝だからといって、強いお願いや強制はできない状況にあることも、みんなで考えることではないか」となどという共通の課題や問題があるようだ。							
◆評価委員の意見 少子高齢化による各保存会が抱える諸課題に向き合い、幅広く市内外の参加団体を募り、バランスを考えて大会運営をしていることは、民族芸能団体の継承活動につながっており評価できる。市内小・中学校の継承活動への協力体制が、その一助になっていることも評価できる。 交流人口が高い水準で維持されていて、本大会に対する市民の期待と満足度が大きいことが分かる。各団体が抱える課題については、市内の学校など関係機関との連携を取りながら、解決策を共に探ってもらいたい。							

26	方針	ふるさとに学び文化をはぐくみ笑顔あふれるひと・まちづくり・・・文化・・・				生涯学習課
	目標	④ 文化財保存・継承の推進				
事業名	方言保存継承事業				決算額 0 千円	
◆事業の目的			◆事業概要			
地域が持つ独自の風土や慣習を表現する一つの文化であり、地域で生活を営み、住んでいた証として引き継がれ残すべき文化である方言を記録し、保存していくことを目的とする。			方言記録集作成及び文字と音声による記録。			
◆評価指標及び実績						
方言記録集作成地区		<div style="text-align: center;"> </div>				
◆令和6年度の実施状況						
対象となりそうな自治会の方に声をかけたが希望する自治会はなく、対象地区の選定ができなかった。						
◆自己評価						
なし。						
◆今後の方向性						
実施にあたっては、対象地域内で方言言葉の意味や由来、発音などを整理する必要があるため、地域内全体の協力体制が基礎になること、地域リーダー的な方の連携が必須であるため、地域の方言を残したい、地域の団結を高めたいなどの強い気持ちがないと事業を継続して進めることが難しいことから、地域からの手上げ制を採用している。市からも方言に詳しい人材が地域内にいないか、自治会長等へ声かけをしながら対象地域の選定を進めるが、公民館講座等で連携した中で取り組み、基本的な北秋田の方言に加えて、地域の特色も別途まとめ北秋田市の方言をとって、継承に向かっていけたら良いのではないかと思います。 また、むかしっこなど、旧町の公民館で作成した冊子を定期的に市民へ紹介する機会を鷹巣図書館と連携し、企画・実施していく。						
◆評価委員の意見						
年々高齢化が進む中、方言保存継承事業については、これまでの方言記録集をまとめ、ロードマップの修正の検討が必要と考えられる。編纂委員会においても内容を検討していただきたい。 令和5年度から引き続き、対象地域の選定に難儀しているようであるが、公民館講座や図書館との連携は有効な方法であると思う。地域人材の掘り起こしも進め、本事業を推進してほしい。						

令和6年度

北秋田市教育委員会点検・評価報告書

発 行	令和7年11月
発行責任者	北秋田市教育委員会教育総務課
所 在 地	北秋田市花園町15番1号 北秋田市役所第二庁舎
T E L	0186-62-6616
F A X	0186-63-2678

議案第 26 号

令和 7 年度全国学力・学習状況調査の結果分析の公表について

このことについて、別紙のとおり公表する。

令和 7 年 10 月 30 日提出

北秋田市教育委員会教育長 佐 藤 昭 洋

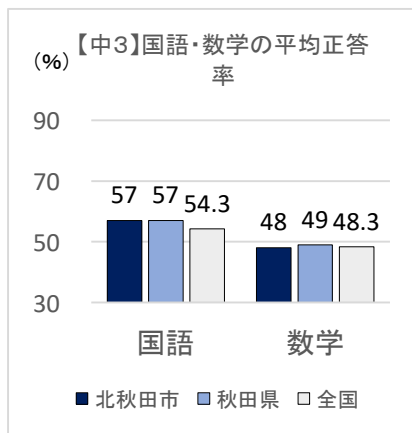
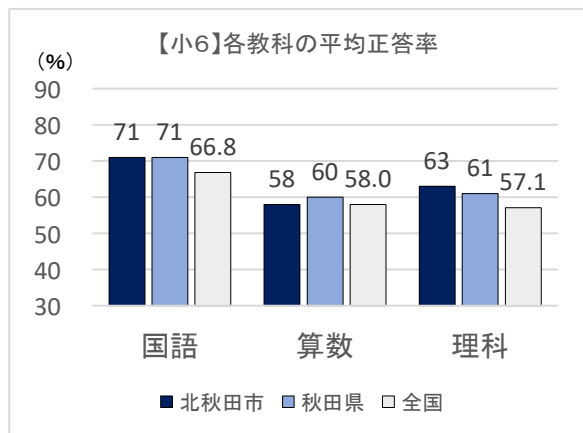
提案理由

北秋田市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（平成 17 年北秋田市教育委員会規則第 6 号）第 2 条第 2 項の規定により、教育委員会の決定を得る必要があるため、提案するものである。

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果分析

1 教科に関する調査の分析

- 県平均との比較では、小6理科が上回り、小6国語、中3国語は同水準、小6算数、中3数学・理科が下回っている。
- 全国平均との比較では、小6国語・理科、中3国語が上回り、小6算数は同水準、中3数学・理科が下回っている。



【中3】理科のIRTスコア
理科はオンラインで実施され、幅広い学習状況を調査するために、共通問題6問、異なる問題16パターンから4問ずつ配信された。IRTスコアは、それぞれが異なる問題を解いている場合に、難易度の高い問題は得点が高く、低い問題は得点が低く算出される。その正誤パターンから、500を基準にして学力を推定した値である。

○北秋田市 497
○秋田県 516
○全国 503

小6 正答率			
	国語	算数	理科
市	71	58	63
県との比較	±0	-2	+2
全国との比較	+4.2	±0	+5.9

中3国語・数学 正答率		
	国語	数学
市	57	48
県との比較	±0	-1
全国との比較	+2.7	-0.3

中3理科 IRTスコア	
	理科
市	497
県との比較	-19
全国との比較	-6

2 市の重点目標を踏まえた質問紙調査結果の分析

重点目標1 次代を切り拓くための資質・能力の育成

- 学級の友達と話し合う活動を通して、自分の考えを深め、新たな考え方に気付くことができる児童生徒の割合が、全国平均を上回っている。
- これまでに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間になっていたと答えた児童生徒の割合が、全国平均を上回っている。
- 授業でPC・タブレットなどのICT機器を「ほぼ毎日」使用していると答えた児童生徒の割合が、全国平均を大きく上回っている。
- 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができる児童生徒の割合が、中学校で全国平均をわずかに下回っている。

重点目標2 豊かな心と健やかな体の育成

- 将来の夢や希望をもっている児童生徒の割合が、全国平均を上回っている。
- 自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合が、全国平均を上回っている。
- 人が困っているときは進んで助けている児童生徒の割合が、全国平均を上回っている。
- 困り事や不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる児童生徒の割合が、中学校で下回っている。
- 学校に行くのが楽しいと思う児童生徒の割合が、中学校で全国平均を下回っている。

重点目標3 ふるさとを愛し、ふるさとを支えようとする子どもの育成

- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童生徒の割合が、全国平均を上回っている。
- 【学校質問紙】コミュニティスクール等の仕組みを活用して、保護者や地域住民の意見を学校運営に反映している学校の割合が、100%である。